

わたしは
こんなところで
何を……

こんな簡単な
罠に引っかかる
なんて……

貞操戦隊
ヴァンナカローズ
最終話

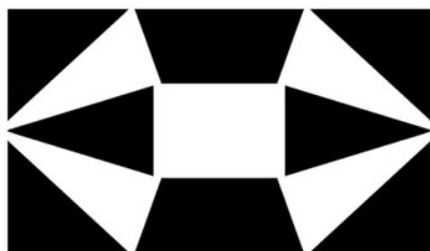
主な登場人物



アカリ
ヴァジナレッド
ヴァジナカラース隊長



ヨミ
WSAの戦闘訓練
トレーナー



WSA
(ホワイトサファイアアカデミー)



ヴァジナホワイト
WSA所属の
ヴァジナ隊員



ミオリ
WSAメカニック



アカネ
WSA最高司令官
アカリの母親

↑
スパイとして潜入



キリノ
ブラックゲノム
ヴィラネス



シオン
ブラックヴァジナ
パープル



クロエ
黒きダイヤ幹部



ミコク
クロエの従順なる
部下



ミドリコ
ブラックヴァジナ
グリーン



黒き獣
元ヴァジナ隊員



黒き戦闘員
元ヴァジナ隊員



アオイ
元ヴァジナブルー
黒き戦闘員



黒きダイヤ

あらすじ

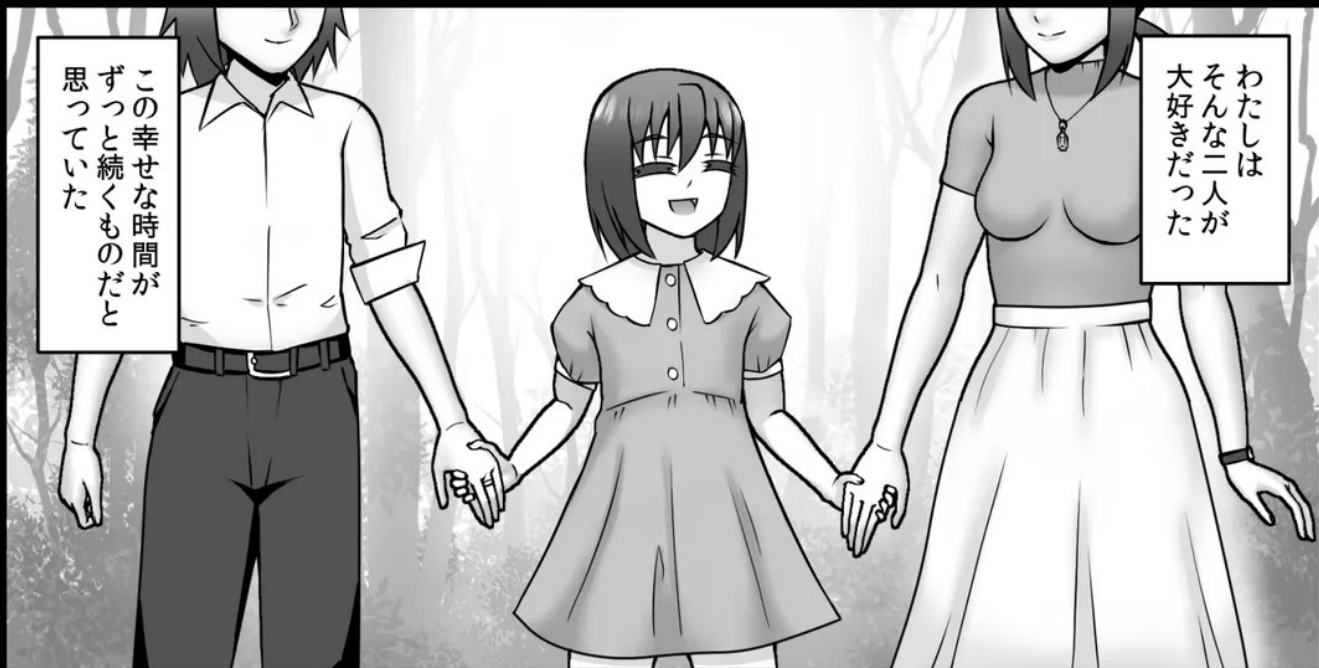
悪の組織「黒きダイヤ」によって次々と取り込まれてしまうヴァジナカラースたち……
残るはヴァジナカラース隊長のヴァジナレッド・アカリひとりのみとなってしまう。
果たしてアカリは捕らえられた母やヴァジナ隊員、そして世界を救えるのか……



少し頼りないけど
とてもやさしい
お父さん……



物静かで
しつかり者の
お母さん……



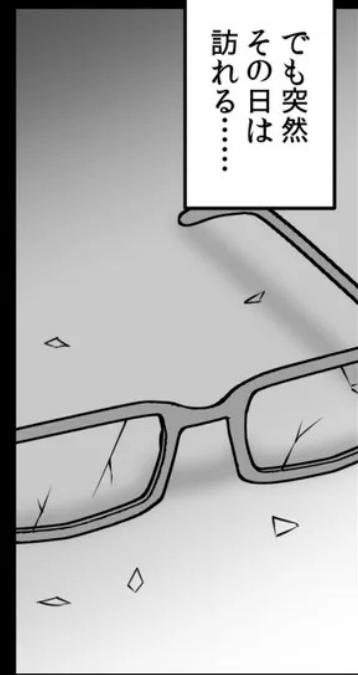
この幸せな時間が
ずっと続くものだ
と
思っていた

わたしは
そんな二人が
大好きだった



WSAの
研究員だった
お父さんが
暗殺されたのだ

黒きダイヤに
よって……



でも突然
その日は
訪れる……



アカリ

もう
泣くのは
やめなさい



ぐすっ……

お父さん
どうして……



お母さん……？



あなたが
黒きダイヤを
倒すの

ヴァジナレッド
として……



これは私が昔
使っていた
ヴァジナベルト……

これを
あなたに
託すわ

あのととき
わたしは
お母さんと
誓ったんだ……

お願い……

あの人の
仇を
討って……

アカリ……

うんッ！

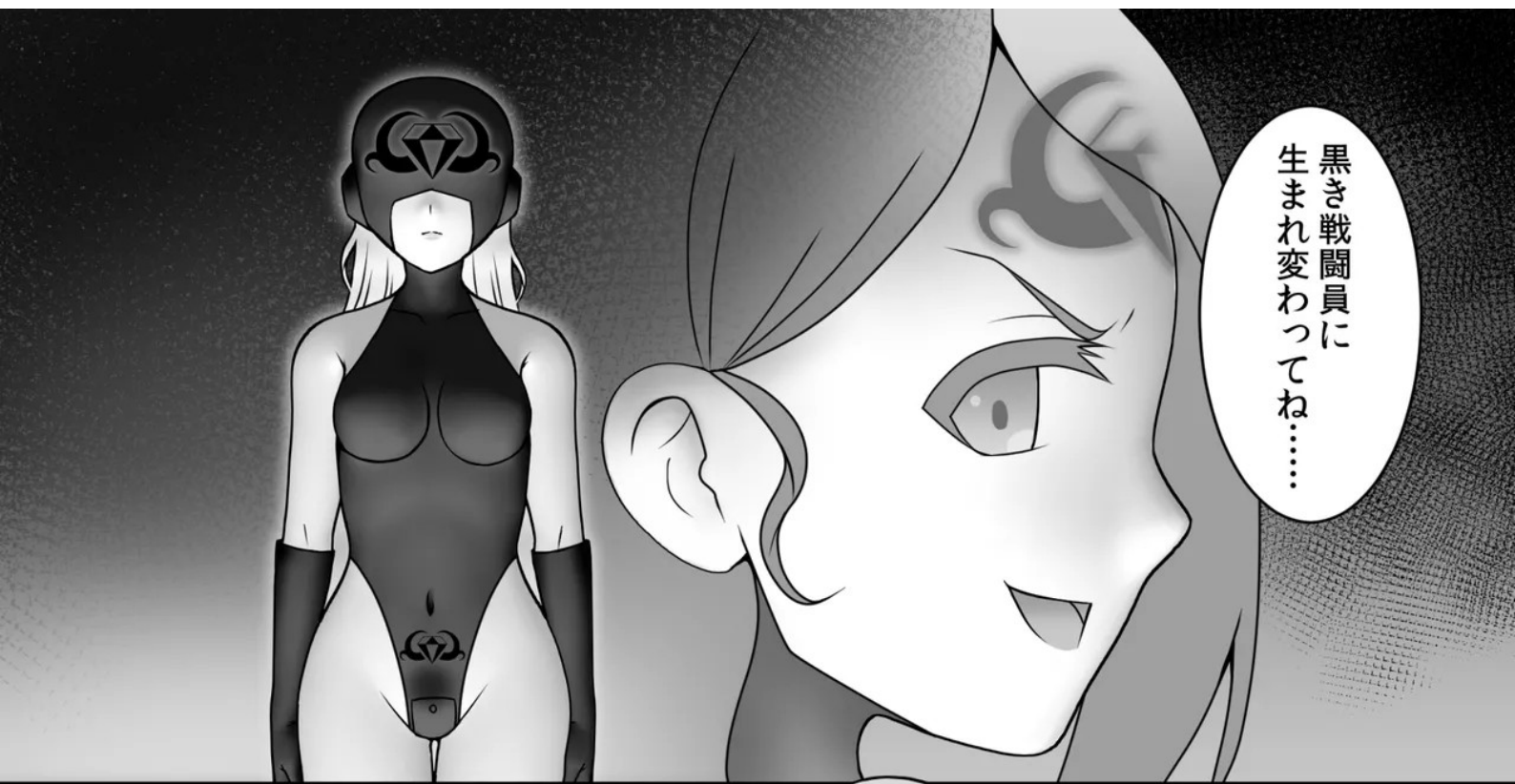
必ずお父さんの
仇を討つって……

まったく……

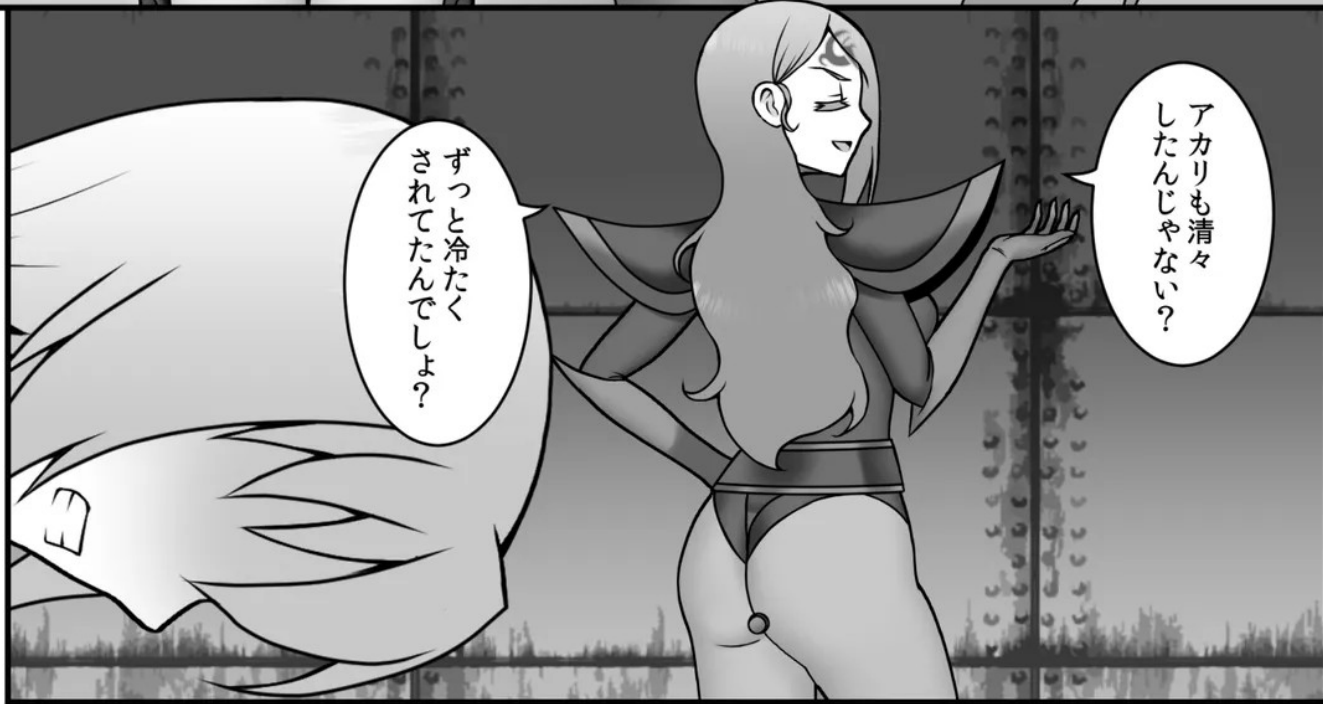
それなのに……

本当にバカね
アカリ



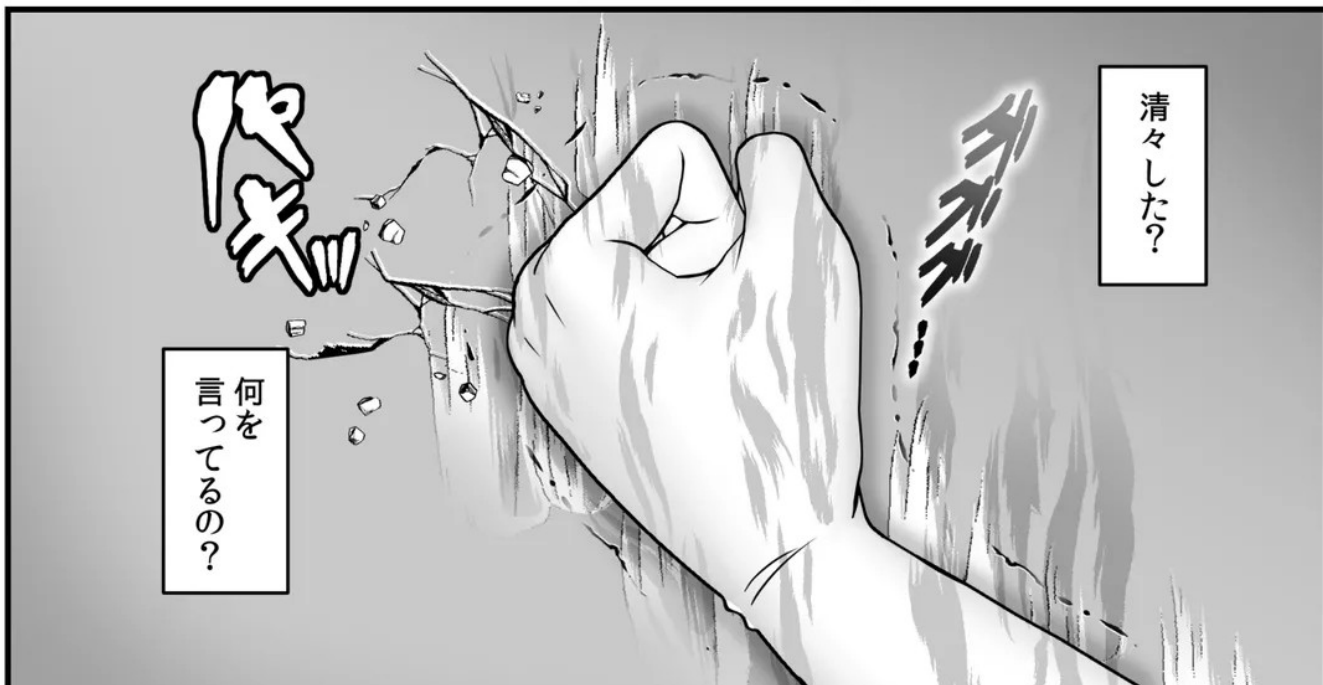


黒き戦闘員に
生まれ変わってね……



アカリも清々
したんじゃない？

ずっと冷たく
されてたんでしょ？

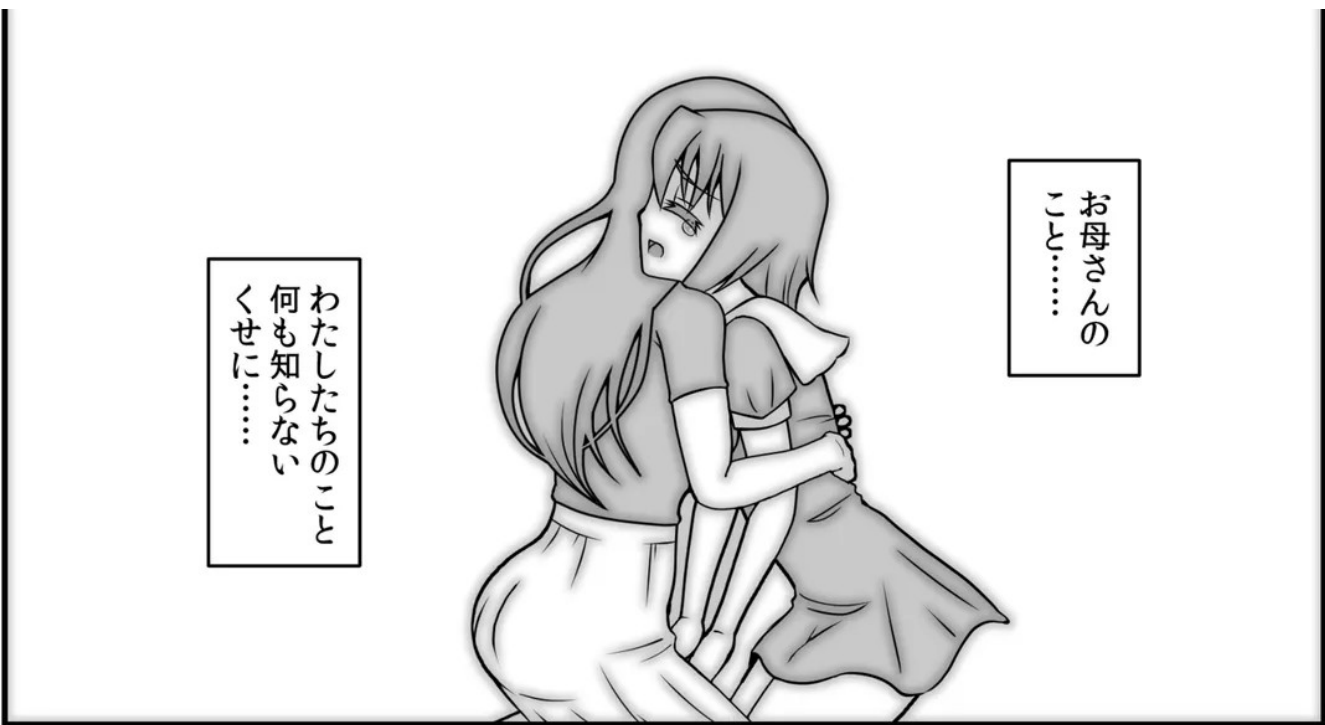


清々した？

バキッ

バキッ

何を
言ってるの？



お母さんのこと……

わたしたちのこと何も知らないくせに……



わたしはあのときお母さんと約束したんだ



心配しないでいいわ

あなたもすぐにわたしたちの仲間にしてあげるから



なッ……!
なにッ?!

必ず
お父さんの仇を
討つって……



もう誰も
わたしの邪魔は
させない！



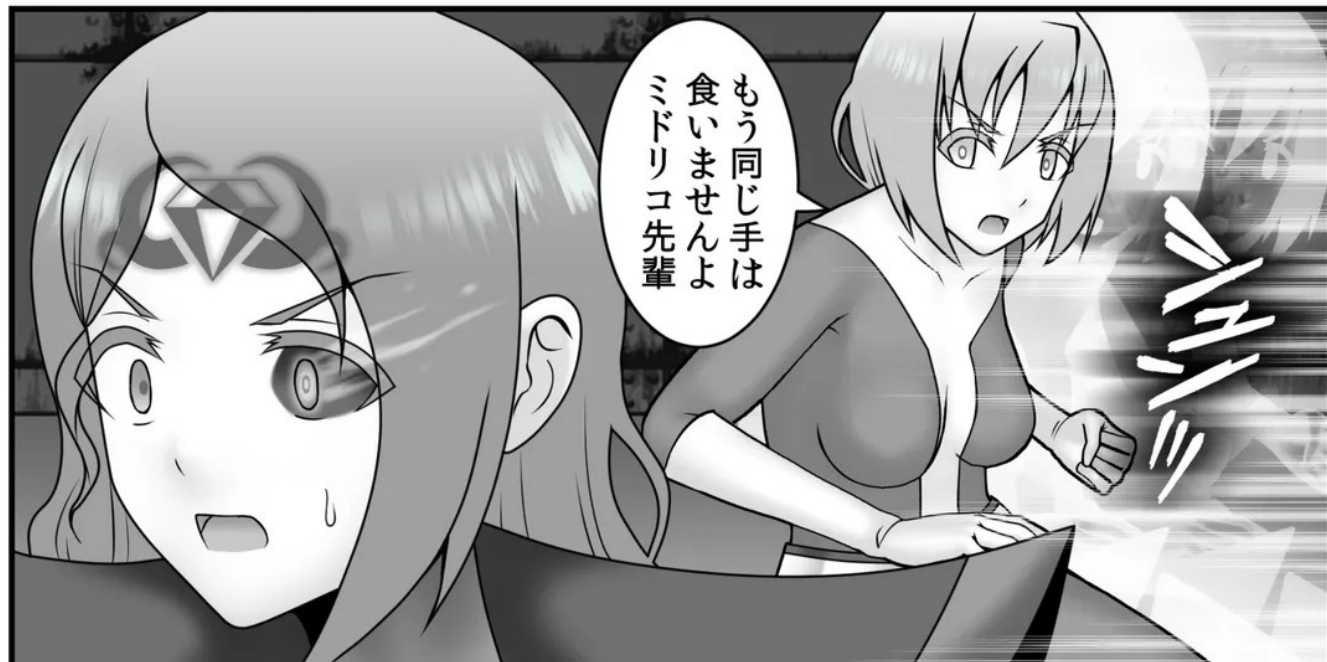
そんな……

わたしの
能力を
退けたのッ!?

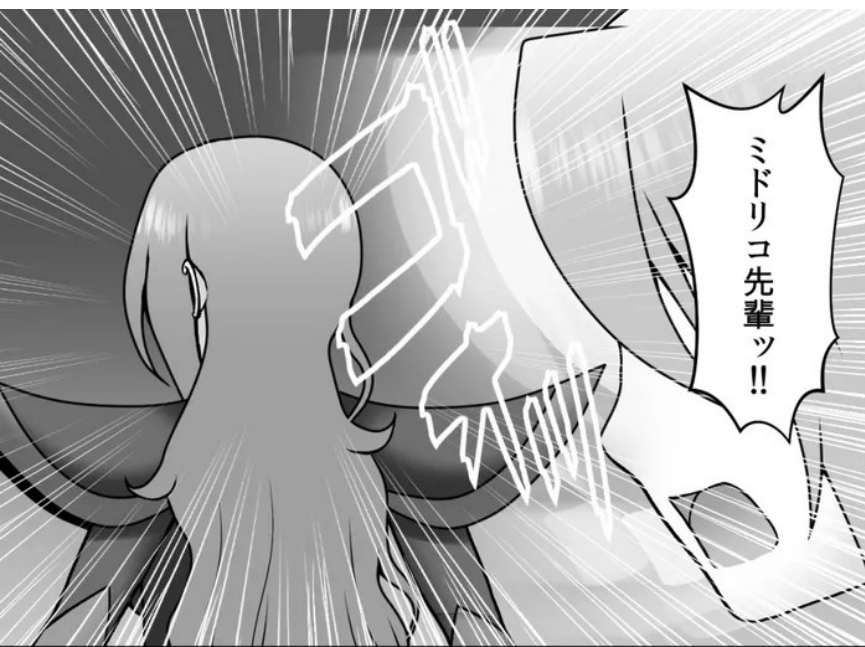




なんて
スピードと
力なの……







ミドリコ先輩!!



もう誰もわたしには追いつけないッ!

これで最後です

カツ



よく耐えてくれました
ミドリコ先輩

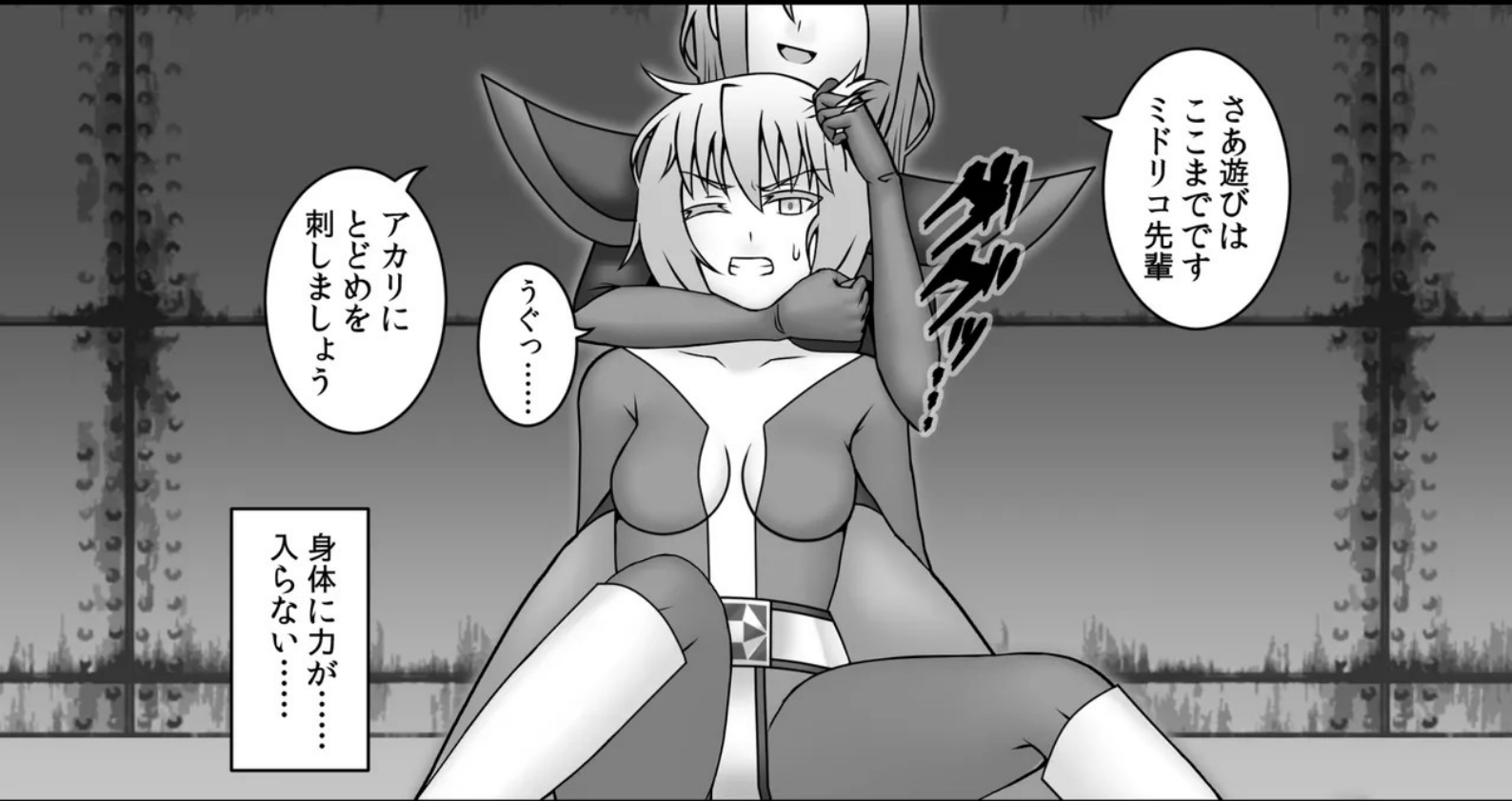
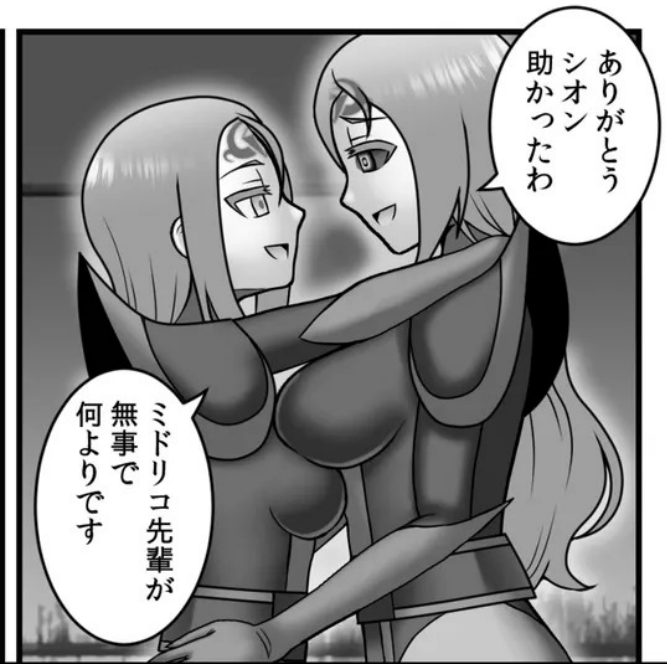
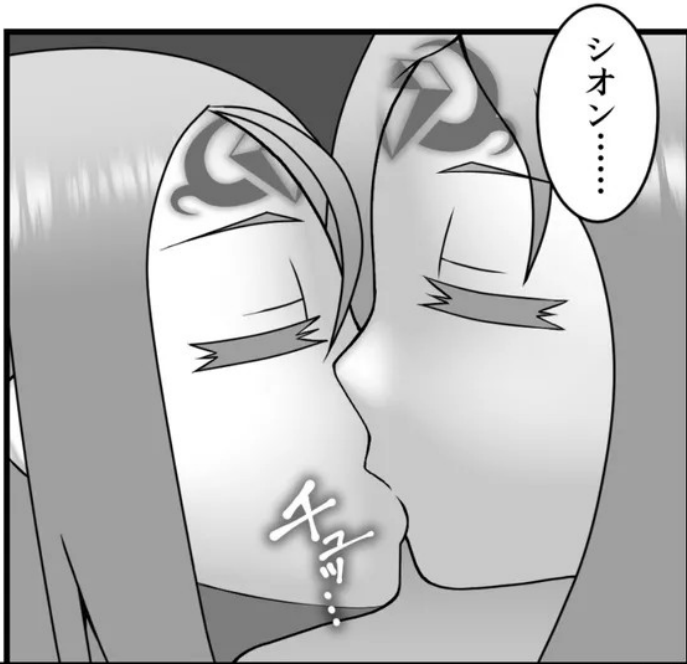
カツ

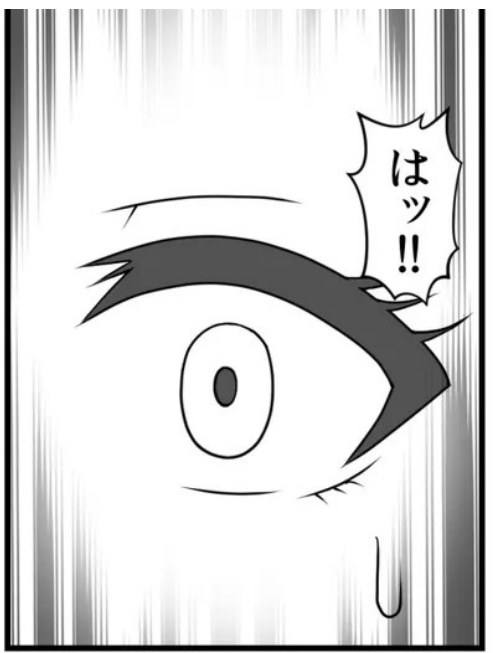
カツ



シオンッ?!











あら……
まだ疑って
いるの？

それじゃあ……



わたしの
精神世界……
本当に……？

また何かの
罠なんじゃ……

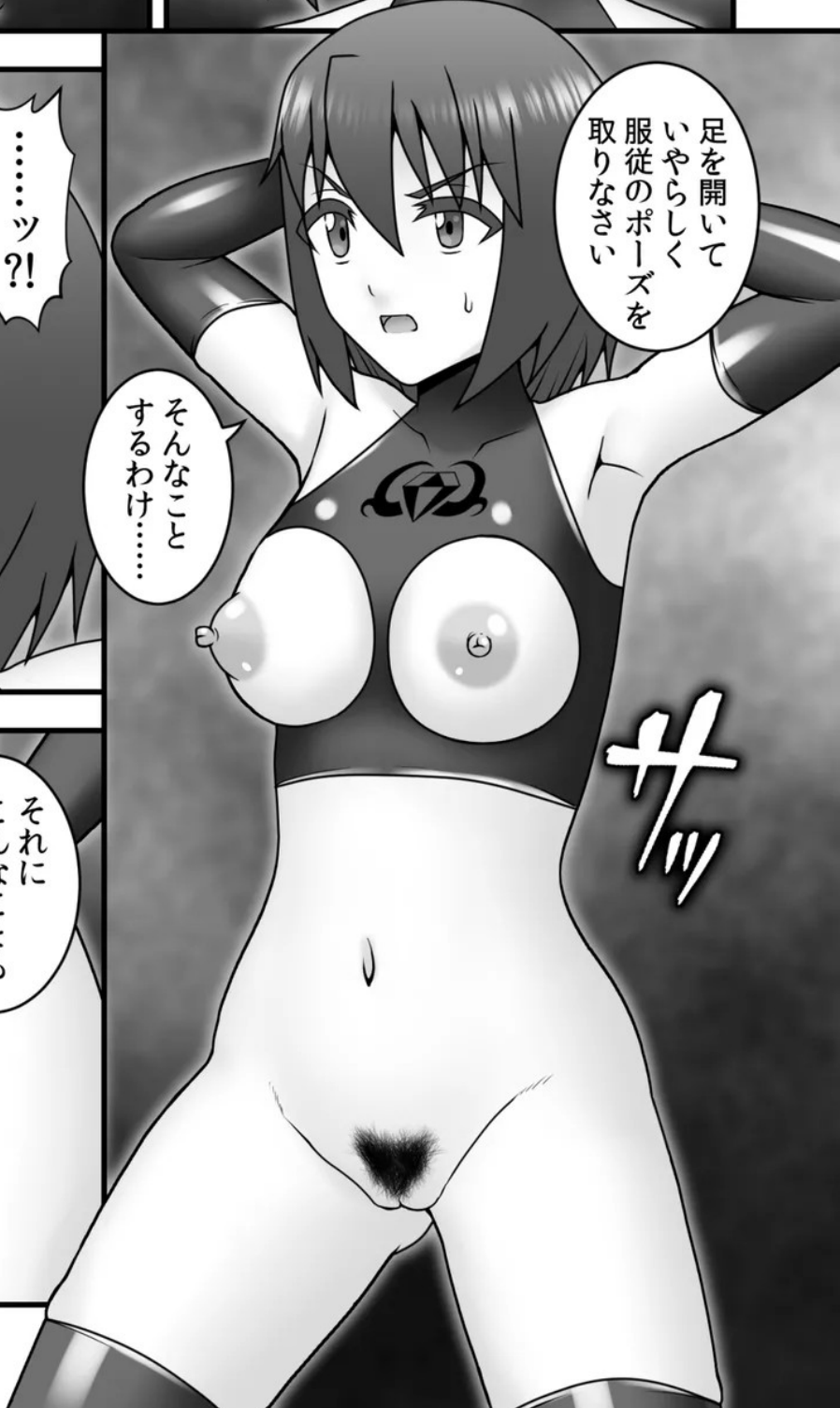


……ツ？！

言ったでしょ
すべてわたしの
思うがままだって



それに
こんなことも
できるのよ



足を開いて
いやらしく
服従のポーズを
取りなさい

そんなこと
するわけ……



くっ……

さてと……
さつきは散々
やってくれた
お返しに

たつぷり
お礼をさせて
もらうわ



うふふ……
素敵でしょ？

ゴッゴッ



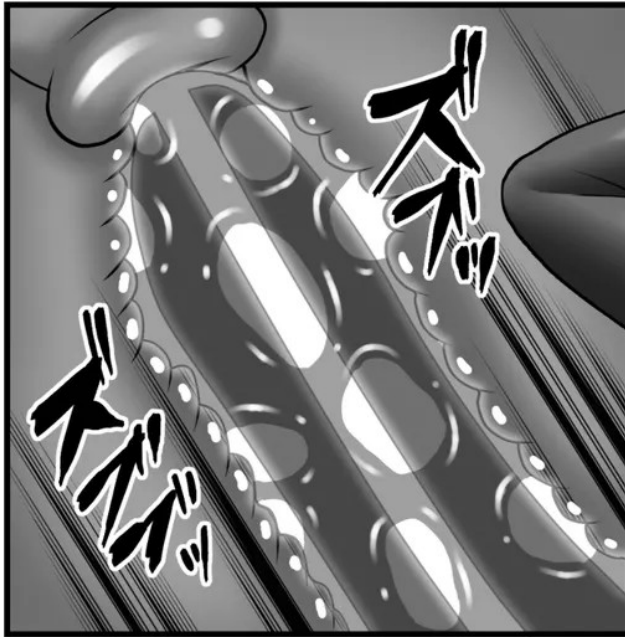
二度と
黒きダイヤに
逆らわない
ようにね

くっ……



大丈夫
安心して
アカリ

ちゃんと
わたしが躡けて
あげるから



かはッ……

うふふ
アカリの初めて
もらっちゃった

いッ……!!



こんなことを
したってわたしは
屈しません

いまは耐えて
ここから
抜け出す方法を
見つけないと……



処女を失った
気分はどう？

はッ……
離して
ください

きつと
ヴァジナの力は
失われないはず……

ここがわたしの
精神の中なので
あれば……



ひびくッ!!



あらあら
まだ自分の
立場がわかって
ないようね

じゃあ
こんなのは
どうかしら?



ひッ……



これから
何度でも
イかせてあげる

あッ……
ああ……

もう何も
考えられなく
なるぐらいね



え?
なに……
いまの……

初めての
絶頂の味は
いかがかしら

全身に電気が
走ったような
感覚……



それから
身体を操られ
ただミドリコ先輩に
されるがまま……

くッ!

うふふ
抵抗しても
無駄よ

はあッ!!



もうあなたは
この快樂に
抗う術はないの

そんなわたしを
あざ笑うかのように
指を鳴らされ

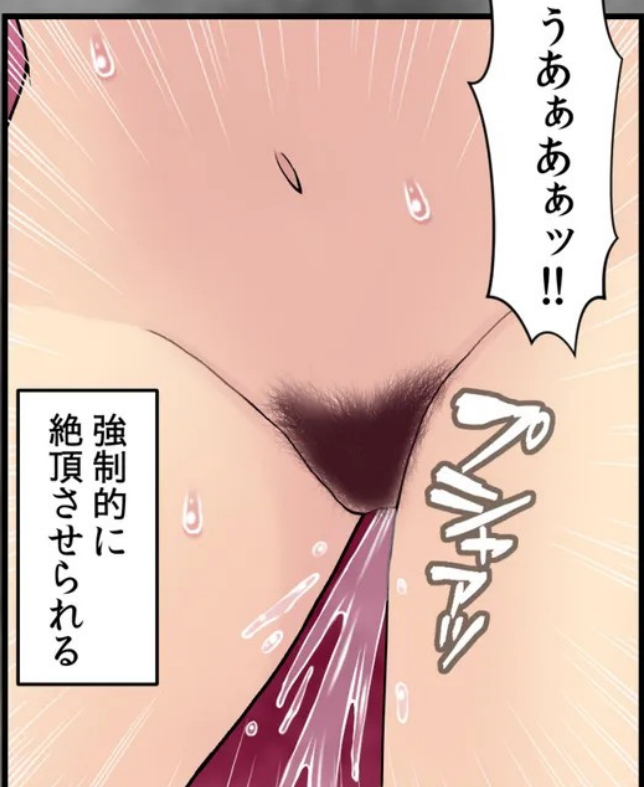


あんッ!

あきらめなさい
アカリ

ああッ!!

必死の抵抗とは
裏腹に身体は
言うことを
聞かない



うあああッ!!

強制的に
絶頂させられる



さあ舌を出して……

次第に身体は
どんどん快楽に
順応していき



抵抗する力を
奪っていく……

クググ



絶頂の瞬間
頭は真っ白になり

そうよ
もつと腰を
動かして

わたしは
ただ快感に
身体を震わせる
しかない

んんッ!

何も考えず
快楽に身を
任せるの



だめ……
こんなの……
快楽に流されて
しまう……

ああああッ!!

このままじゃ
いずれ
心さえも……



ここは
あなたの
精神世界……

心の反応が
身体に影響を
与えたの

自分は
小さくて
弱い存在
だってね……

わたしは
弱い存在……

1/4……

顔を
上げなさい
アカリ

え……？

お母さん……？



アカリ
もういいの

こんな快樂に
勝てる人間なんて
いないわ



そして
お父さんの
ためにも……



だめ……

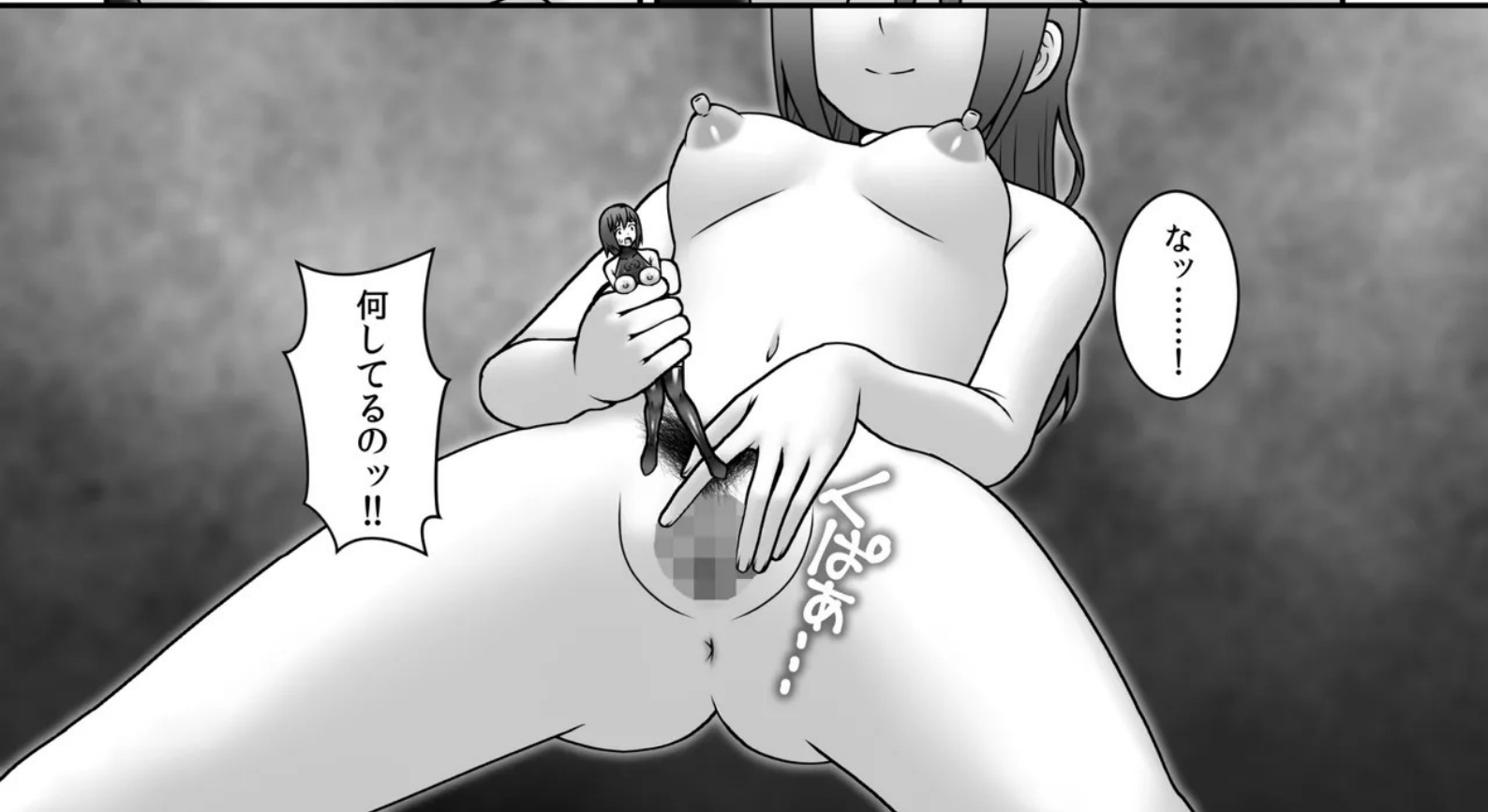
ヴァジナレッドの
わたしが
負けるわけには
いかないの

世界のためにも
WSAのみんなの
ためにも



そうだ
わたしは……

あのときの
お母さんとの
約束を守る
ために……



あ……
お母さんの
膣内に
飲み込まれ……

ひとつに
なりましょう

ガクッ

お母……
さ……

私の膣内に
来て……

あっ……
ああッ……

ズズズ


さあ
アカリ……

オキッ

ひっ……


ガクッ

アゲッ




だめ……
ここから
出ないと……

出ないと
いけないのに……



お母さんの膣内
あたたかくて
安心する……

気持ちよくて
抵抗する力が
湧いてこない……



わたし……
お母さんと一緒に
いられるのなら

もう……

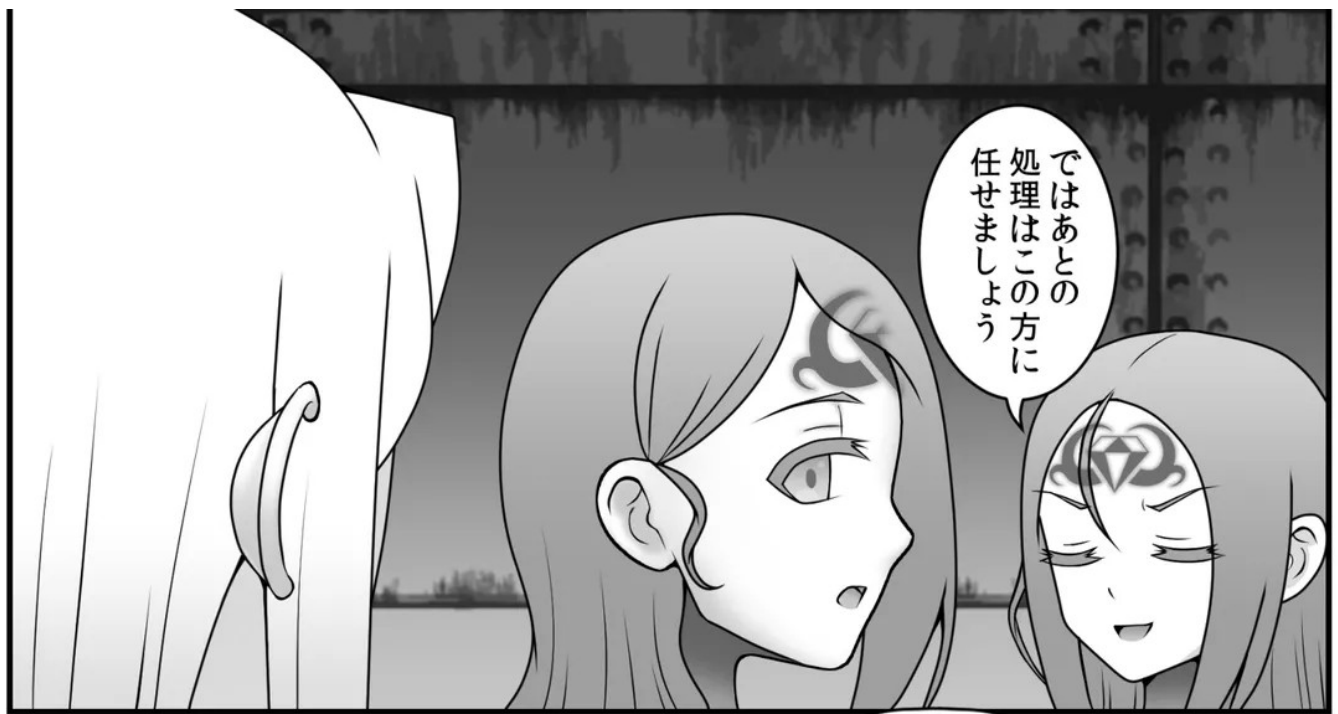
終わったのですね
ミドリ先輩

ええ……

アカリの
心は完全に
折れたわ

もう
戦う必要も
ないでしょう

……うん



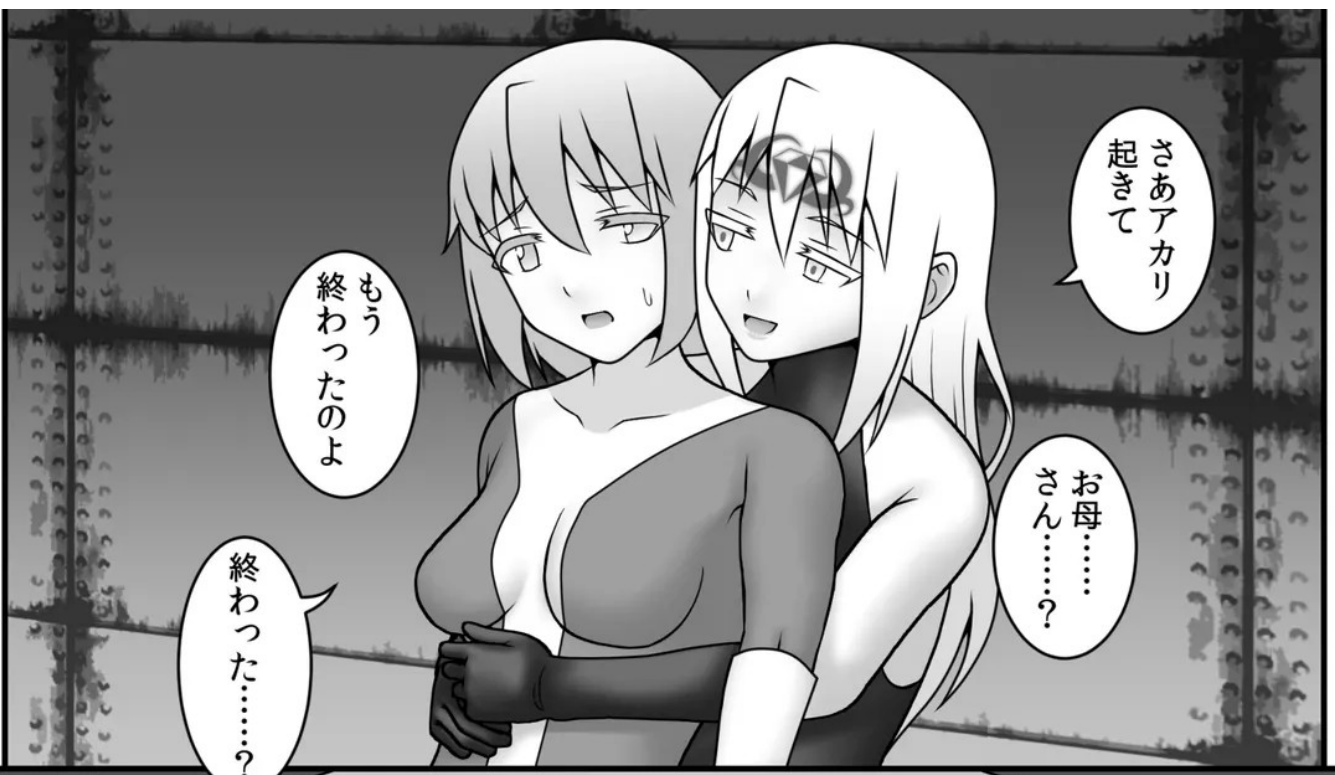
ではあとの
処理はこの方に
任せましょう



アカネ司令
いえ……

黒き戦闘員
アカネ

はッ！
お任せください
シオン様



さあアカリ
起きて

もう
終わったのよ

お母……
さん……？

終わった……？



私たちは
負けたの……

黒き
ダイヤにね

あッ!!

黒
ダイヤ



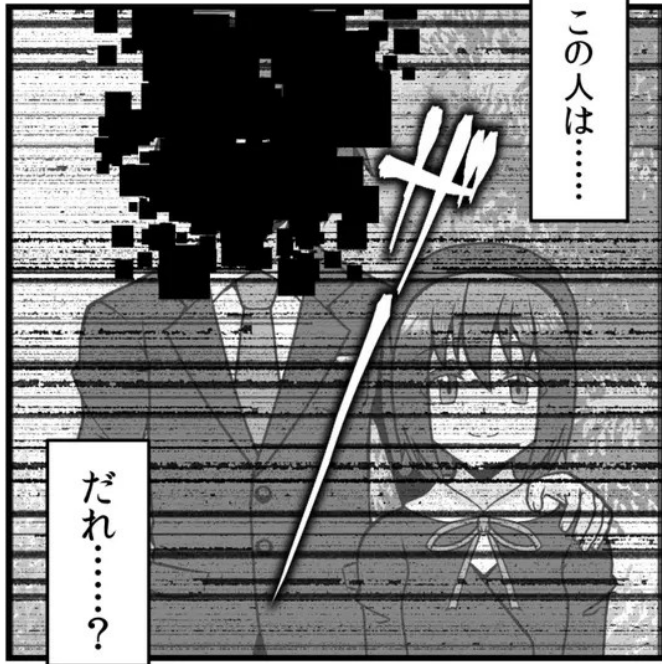
でもアカリも
わかった
でしょう？

快樂に身を
委ねることが
こんなに幸せな
ことだって……

だめ……
抵抗……
できない……

……

……



この人は……

だれ……？



あれ？
わたし……

何のために
戦ってたんだっけ？



そして
黒きダイヤに
ヴァジナベルトを
捧げましょう

さあアカリ
ヴァジナスーツを
解除して

ヴァジナベルトを
捧げる……？



そうすれば
私たちは
ずっと一緒に
いられるの

ずっと
一緒に……

お母さんと
ずっと一緒に
いられるのなら……

オマケ

もう何も
いらない……

オマケ





これで
アカリも
終わったわね

うふふ……



私たちは
誰よりも
愛し合っ
たのに……



アカネ
あなたが
悪いのよ



私を裏切っ
てあんな男
なんかに
そそのか
される
から……



ハルカよ……
もう
よいのでは
ないか？

ええ
もうなにも
悔いはないわ



こうやって
あの男から
アカネを
取り戻せたの
ですもの

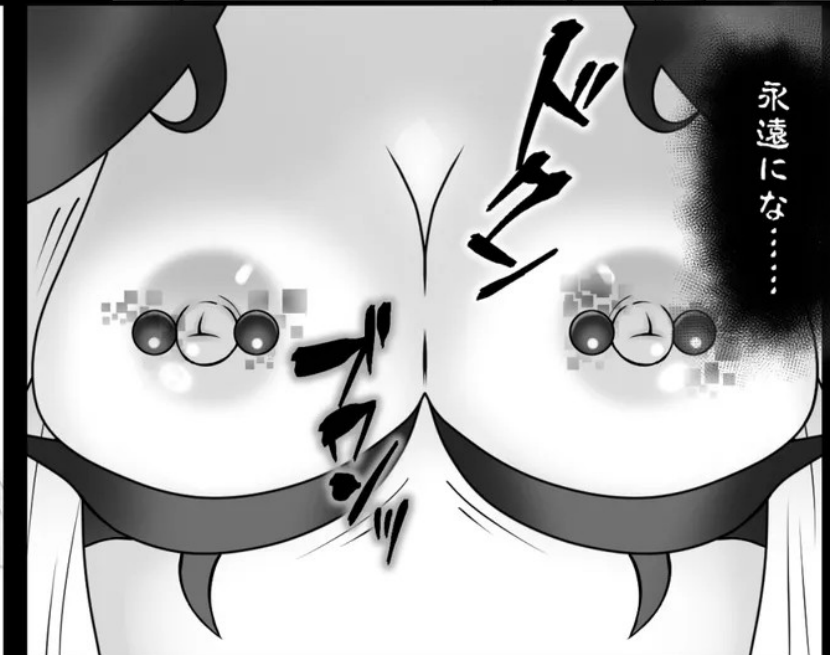


おまの身体を
いただくという
約束をなッ！



おまの望みどおり
復讐も果たせた

では今こそ
約束を守って
もらおうぞ……



ククク……

パキッ

パキッ

ようやく
戻ってきたぞ……

この世界を支配し
黒に染めし者……

わらわこそ
黒きダイヤの女王
クロエ



ふむ……
良い獲物も
いることじゃ

さっぞく
この身体が
どれほどのものか
試してみるかのう

ククク……
あの小癪な
ヴァジナレド
アカネ……

その娘と
交わる日が
来るとはな

親子で
わらわに
歯向かった
罪……

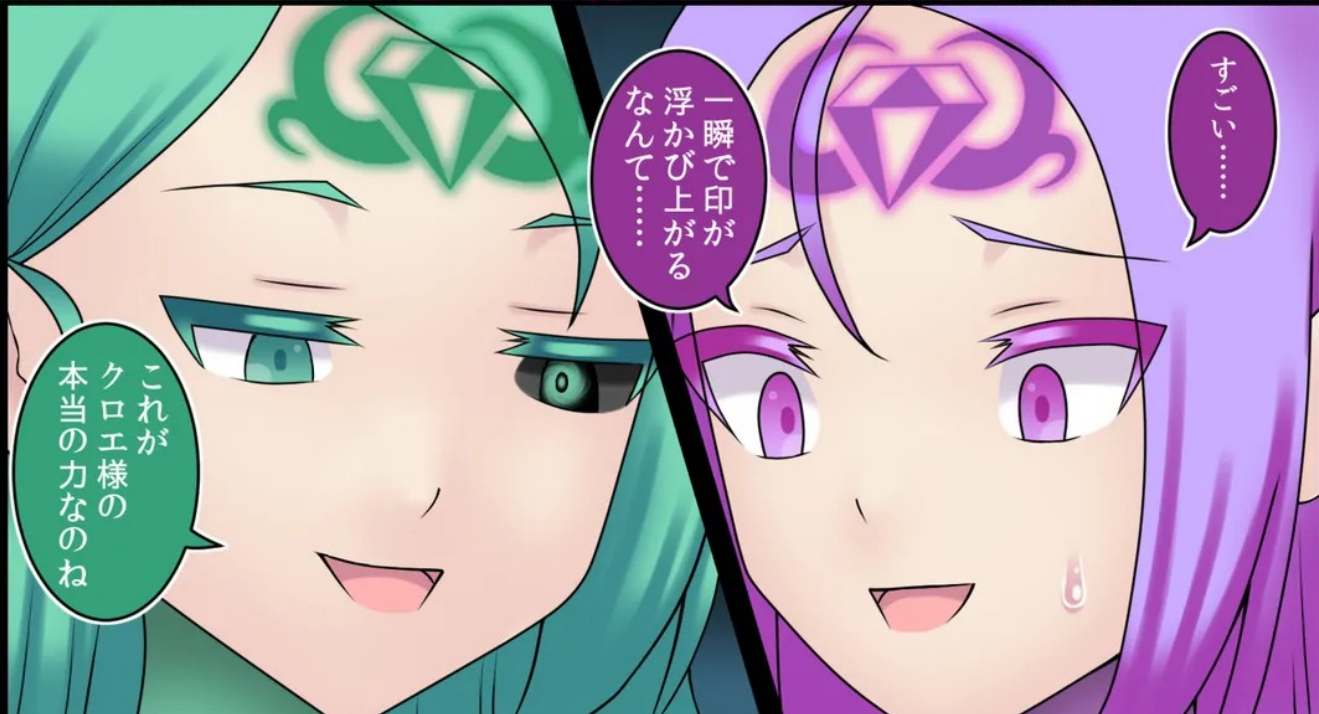
存分に
受けるがよい

ひッ!

キョク……



あああああッッ!!



これが
クロエ様の
本当の力なのね

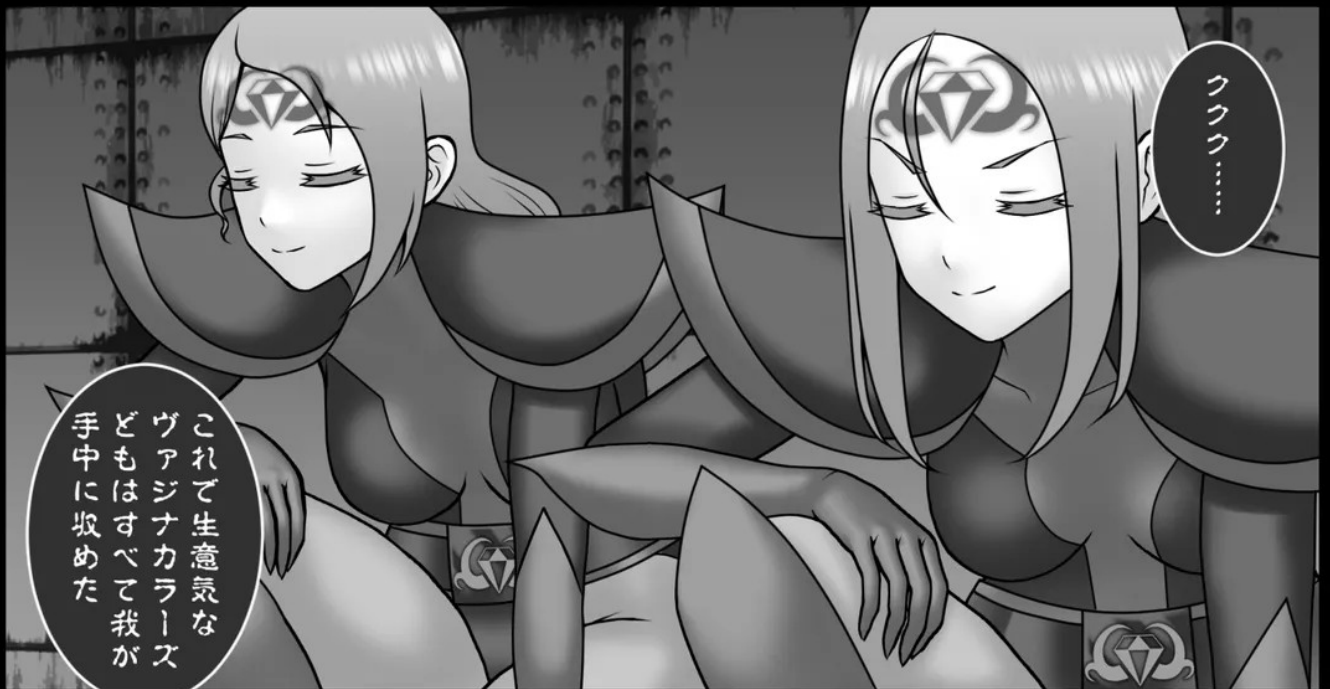
一瞬で印が
浮かび上がる
なんて……

すごい……



申し分ない
カじゃ

さすがこの
わらわを倒した
ヴァジナフルー
ハルカの
恵まれた肉体……

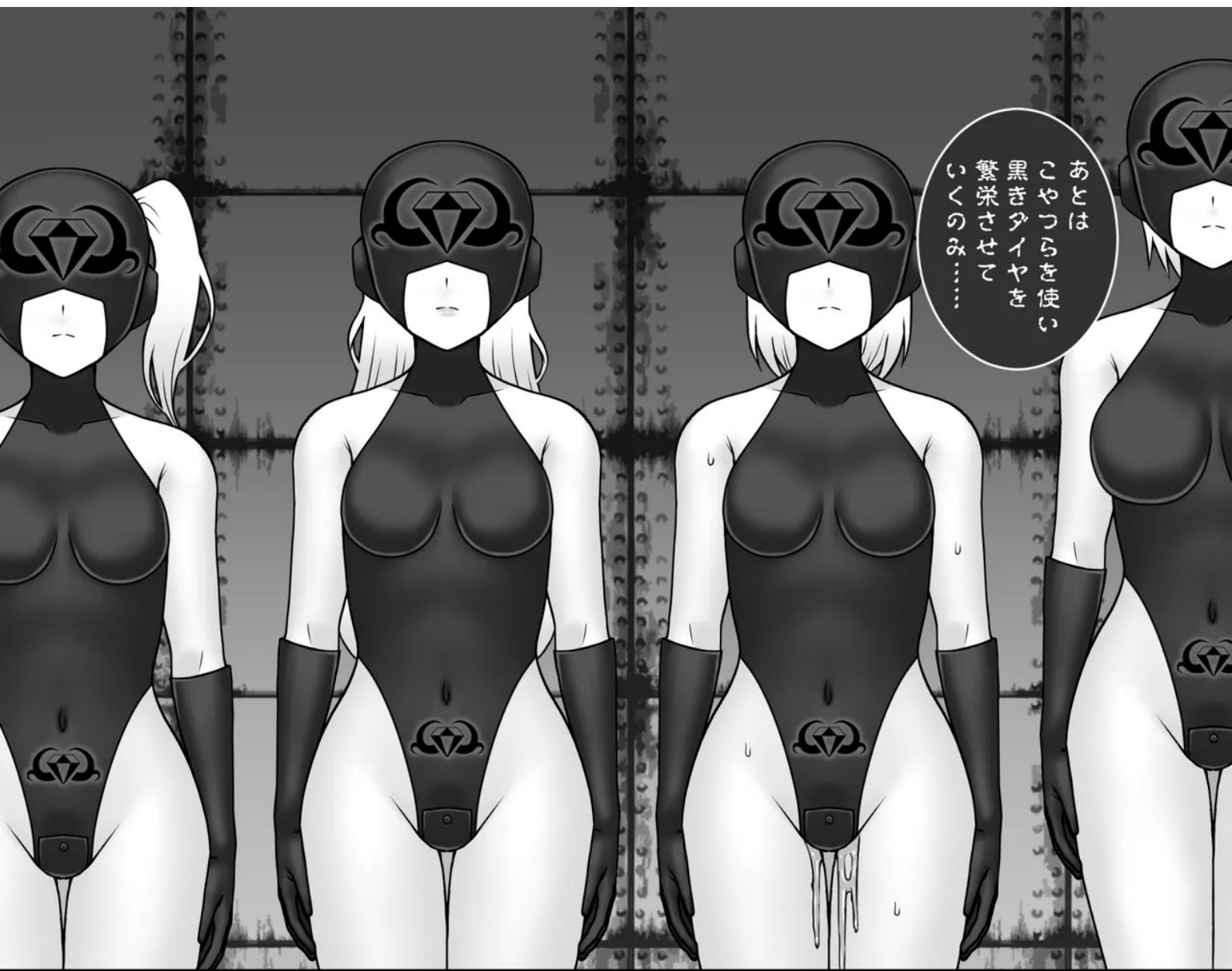


フクフク……

これで生意気な
ヴァジナカラーズ
どもはすべて我が
手中に収めた



もうわらわに
逆らう者もなく
なるであろう



あとは
こやつらを使い
黒きダイヤを
繁殖させて
いくのみ……



フハハハハハッ！

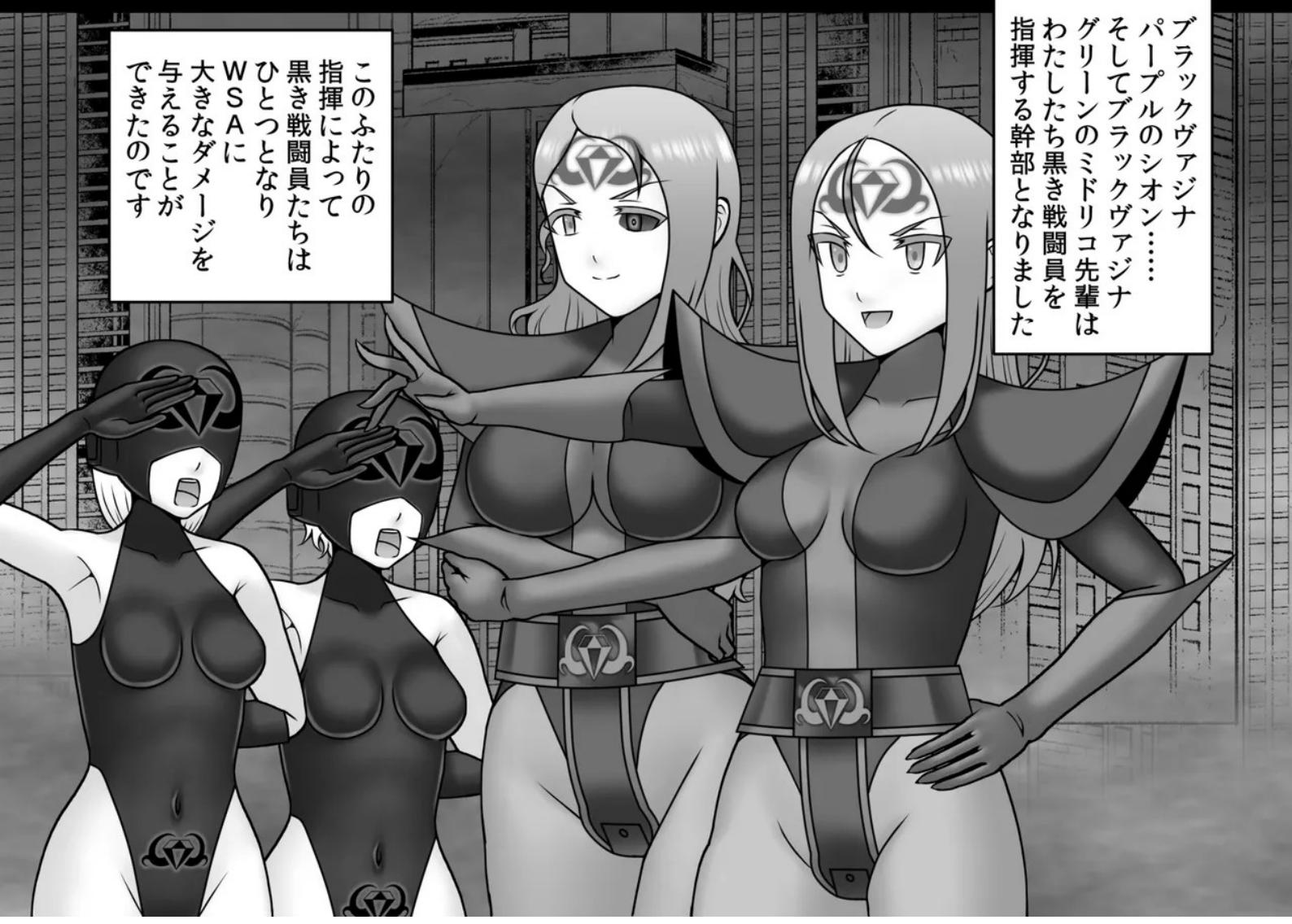
今度こそ
わらわが
この世界を
支配して
くれようぞ

それから世界が
黒に染まるのに
そう時間は
かかりませんでした……




その後
黒きダイヤは
WSAに総攻撃を
仕掛けました

そこでは
黒き戦闘員の
アオイ先輩が
先頭に立ち
活躍したといひます




ブラックヴァジナ
パープルのシオン……
そしてブラックヴァジナ
グリーンのミドリコ先輩は
わたしたち黒き戦闘員を
指揮する幹部となりました

このふたりの
指揮によって
黒き戦闘員たちは
ひとつとなり
WSAに
大きなダメージを
与えることが
できたのです



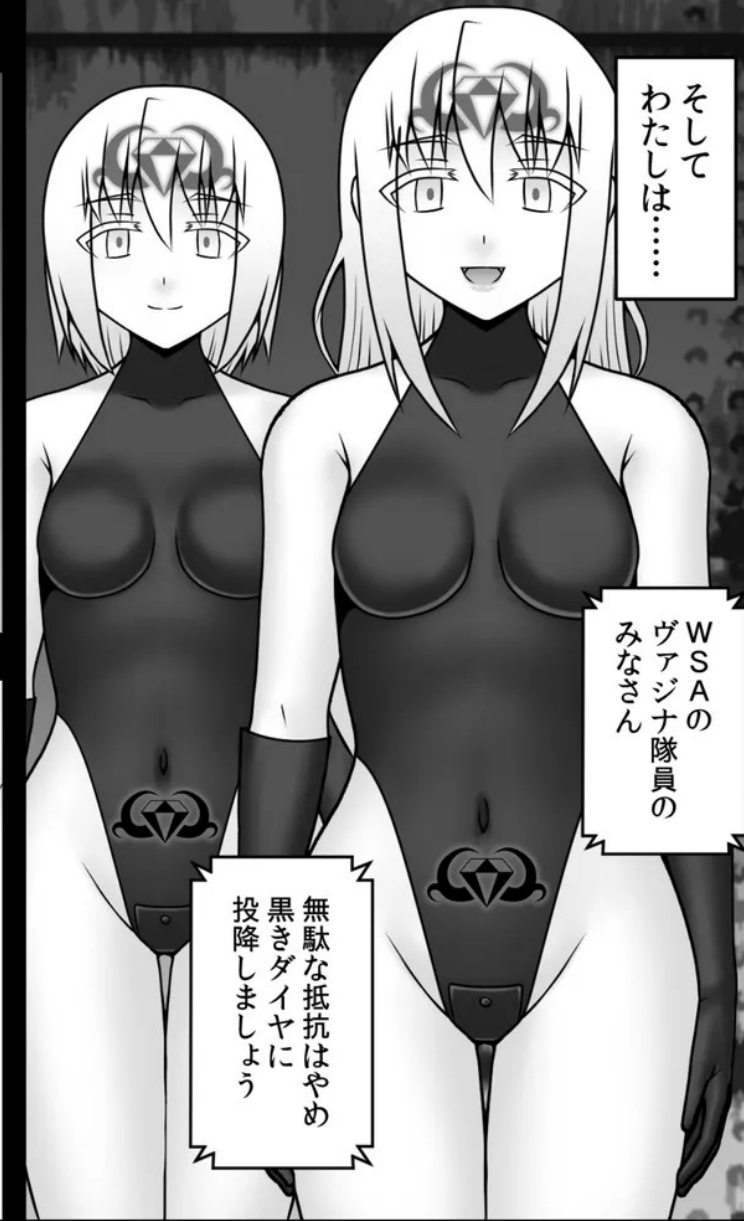
キリノは
ミコク様の
従順な部下として
黒き獣を従え
実験体となる
ヴァジナ隊員を
捕らえ連れ帰って
いるようです



そして
ヴァジナ隊員たちを
ブラツケゲノム
ヴァイラネスに
生まれ変わらせ
その数を増やし
続けているのです



そして私たちの
仲間になり
クロエ様のために
生きるのです



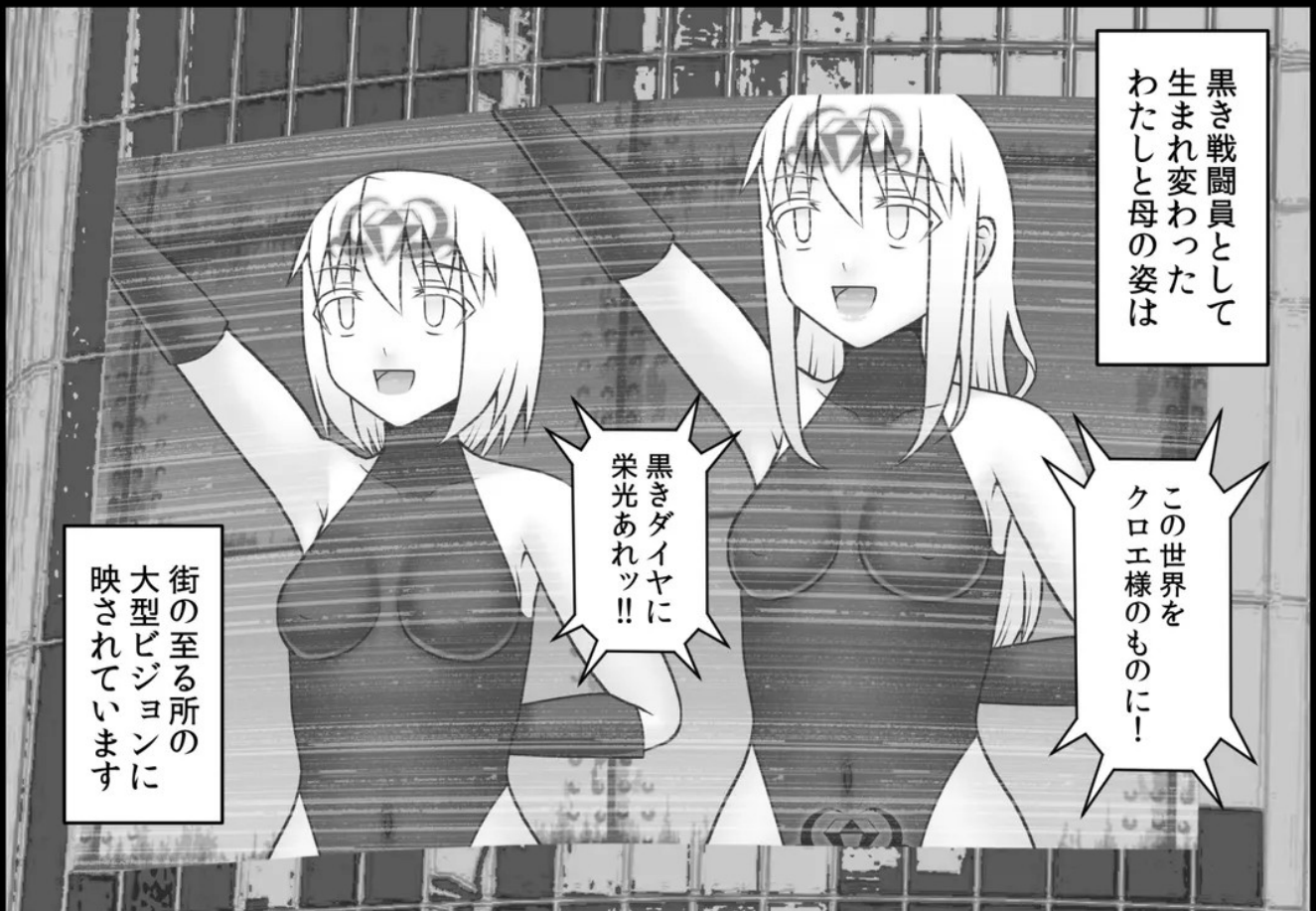
そして
わたしは……

W S Aの
ヴァジナ隊員の
みなさん

無駄な抵抗はやめ
黒きダイヤに
投降しましょう



それが私たちの
喜びであり
幸せなのです



黒き戦闘員として
生まれ変わった
わたしと母の姿は

この世界を
クロエ様のものに！

黒きダイヤに
栄光あれッ！！

街の至る所の
大型ビジョンに
映されています

W S A の
英雄であつた
わたしたちの
その惨めな姿に

数多くの
ヴァジナ隊員たちが
心を折られたと
いいます

そして
ヴァジナカラーズを
失つた W S A には
抵抗する力はなく

瞬く間に
黒きダイヤの一員に
生まれ変わった
わたしたちの
手によって
制圧されたのです

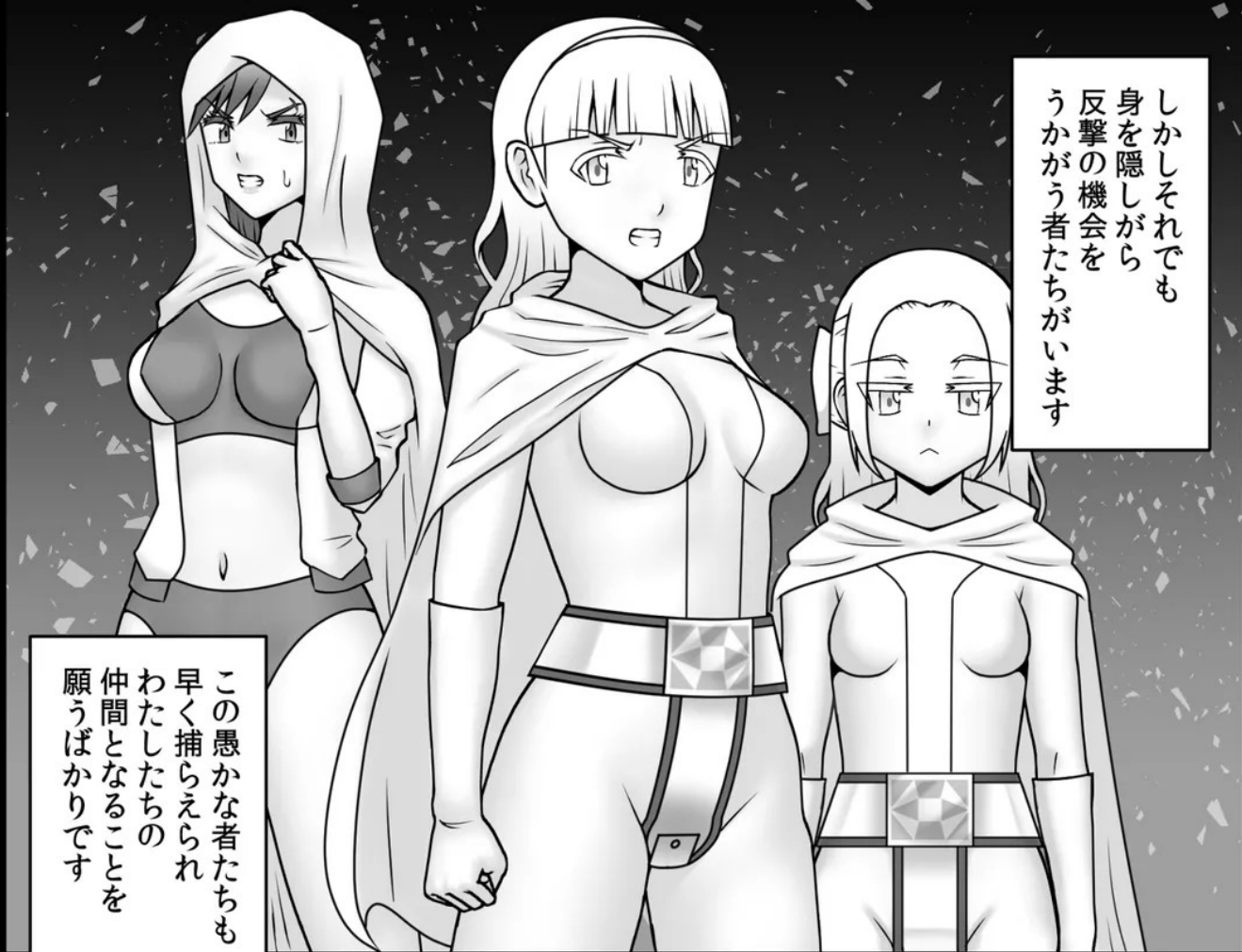




W S A 制圧後
所属していた
半数以上の
ヴァジナ隊員たちは
黒きダイヤに
連行され……




その姿を
わたしたちと
同じように
黒き戦闘員へと
変えました

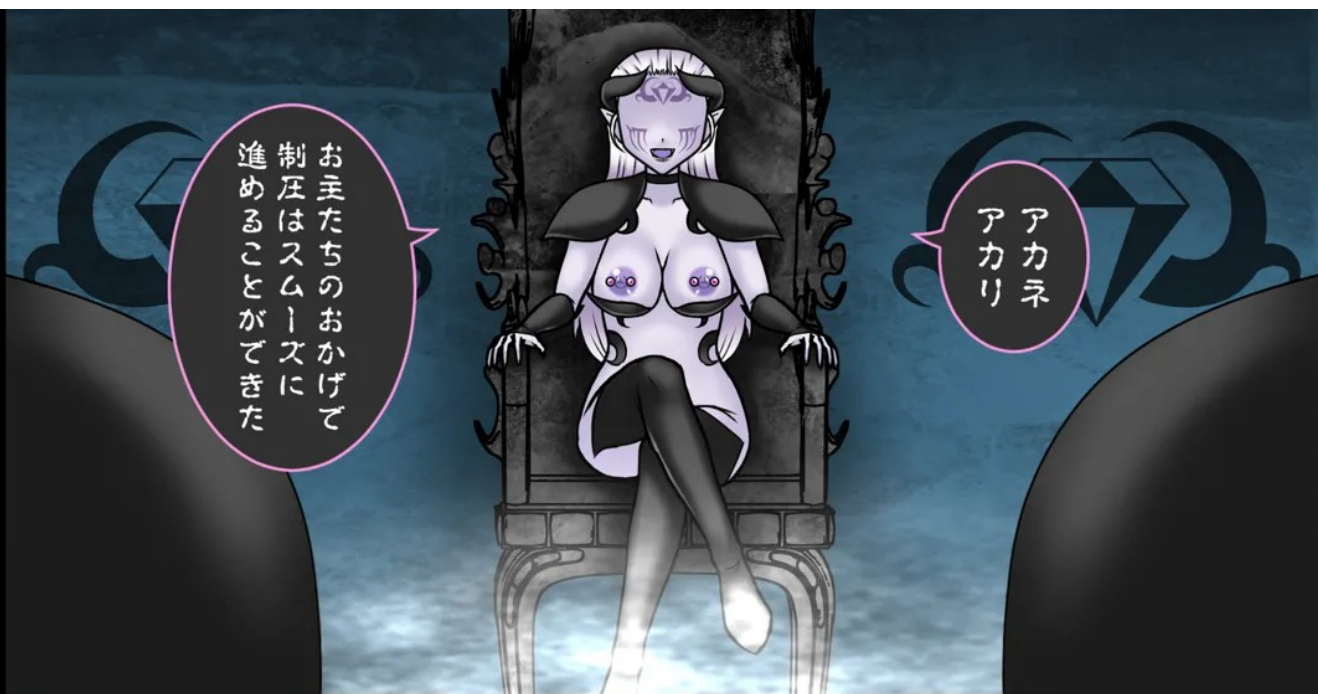


しかしそれでも
身を隠しながら
反撃の機会を
うかがう者たちがいます

この愚かな者たちも
早く捕らえられ
わたしたちの
仲間となることを
願うばかりです



そして世界は
女王クロエ様率いる
黒きダイヤの支配下
に置かれることと
なったのです……



おまたちのおかげで
制圧はスムーズに
進めることができた

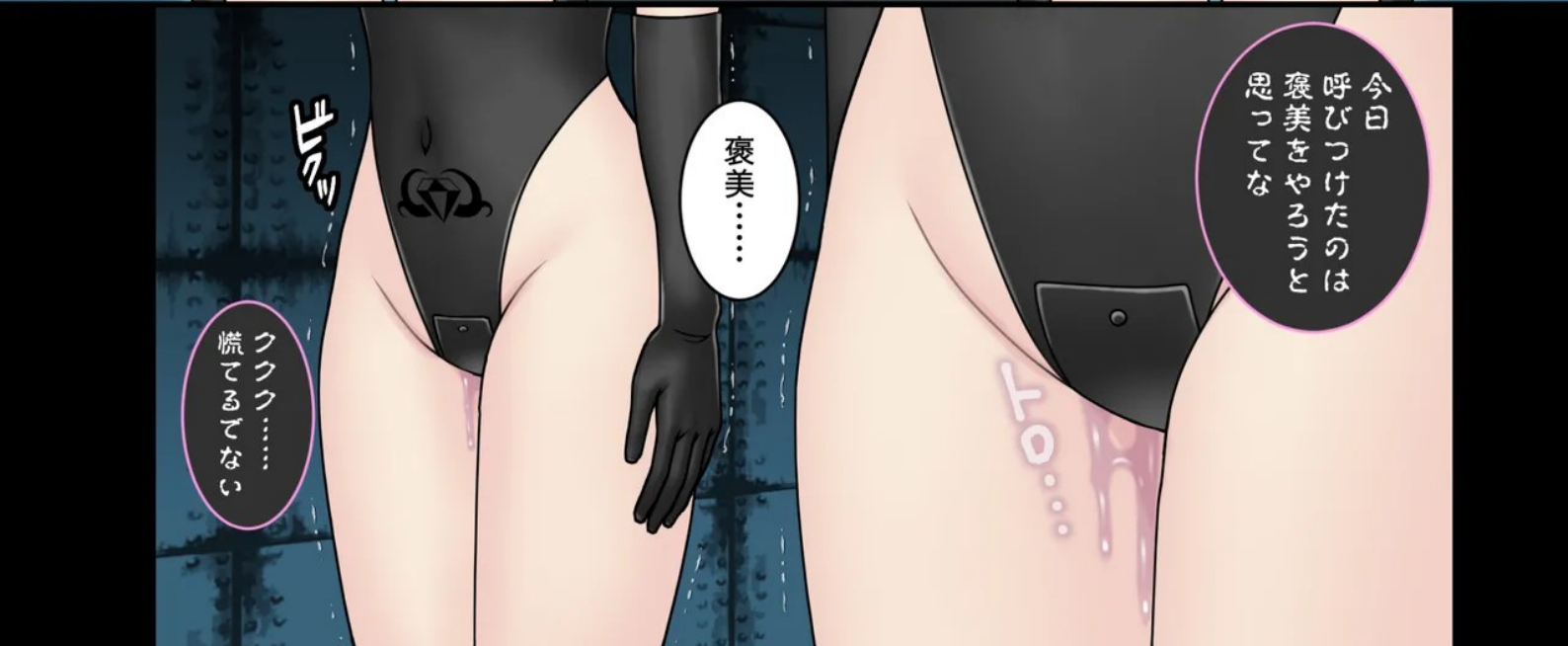
アカネ
アカリ



さすが
世界の希望であった
ヴァジナレッドじゃ

ありがとうございます
ござります

クロエ女王様の
お役に立てて
光栄です



今日
呼びつけたのは
褒美をやるうと
思ってたな

褒美……

ククク……
慌てるてない



アカリよ……



何も言わずとも
おまの希望は
わかっておる



身体が……

わたしの
身体が
溶けていく……



わたしが
わたしじゃ
なくなつて……

あッ……



んんんんんツ!!

グァ

グァ



コト

ククク……
見事に玩具と
成り果てたな
アカリよ

さあアカネ
存分に
可愛がって
やるがよい

はッ！
ありがとうございます
クロエ様



ああ……
アカリ
こんな姿に
なつて……

とても
いやらしくて
素敵よ

びびり
びびり



わたしはいま
満たされた
幸せな毎日を
送っています

こんな幸せを
与えてくれた
クロエ様には
感謝しても
しきれません

この世界を
クロエ様のものに！

黒きダイヤに
栄光あれッ!!

これからも
ずっとこの幸せを
感じながら
存在できればと
そう願っています

お母さんの
膣内で……

終

貞操戦隊 
ヴァジナカレース
最終話

制作 : IceLee / STUDIO HP+

Twitter : icelee_i3

pixiv : 63625

Mail : i3-hplusplus@infoseek.jp

HP : <http://studioplusplus.sakura.ne.jp/>

未成年者の購読・閲覧を禁じます。
無断複製・転載・アップロードを禁じます。

ヴァジナレッド・アカリの能力



ヴァジナレッド・アカリの能力は瞬速。
目にもとまらぬ速さで攻撃を行う。
攻撃の度にどんどん加速し攻撃力も増していく。



第一話でアカリがシオンを助けるシーンも
この瞬速能力を使っている。

ちなみにアカリは蹴り技を得意としている。

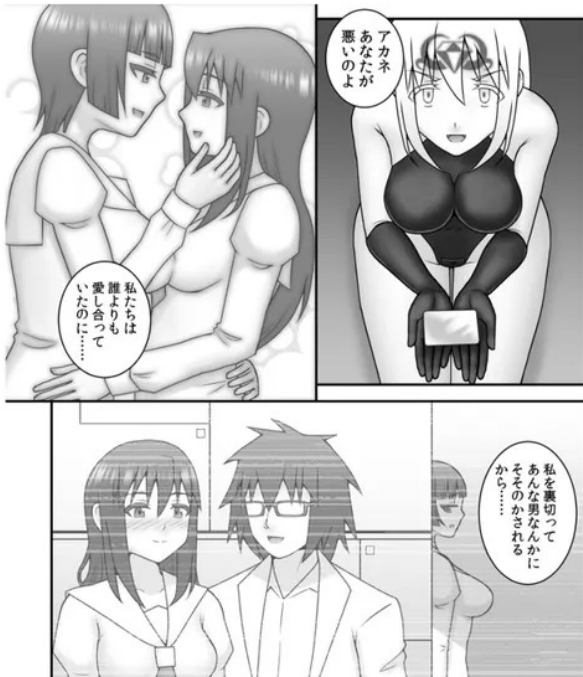
アカリの父親



アカリの父親はアカネと結婚前から
WSAでヴァジナベルトの研究をしていた。
ほとんど女性職員のWSAで男性が勤めるのは
異例でそれほど研究員としての才能があった。

暗殺されたのはヴァジナベルトの秘密を
握っていたという噂も……

アカネとハルカの関係



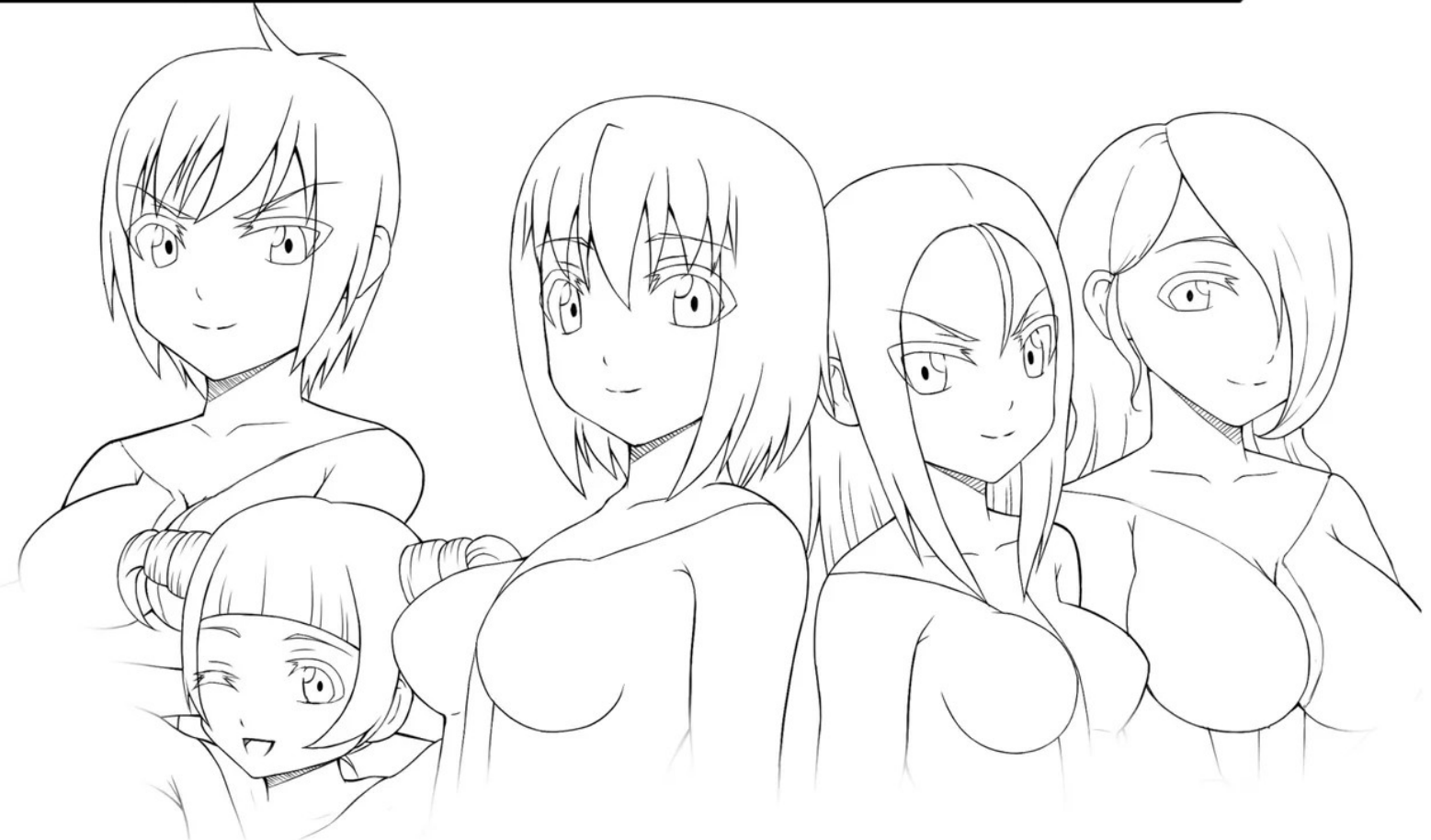
アカネとハルカはヴァジナ隊員時代、恋愛関係にあった。しかしアカネが男性研究員(アカリの父親)に恋をしまい関係は終わりを向かえる。

その後もヴァジナレッドとヴァジナブルーとしてふたりは戦い続けるがクロエとの決戦でハルカは犠牲となってしまう……

しかし数年後、ハルカはクロエと一身となり蘇ることに……

このあたりの話はあまりエロシーンもなく話もどんどん複雑になってしまったので一旦ここで最終話とさせていただきました。また何かの機会で描ければと思います。

最後に



「貞操戦隊ヴァジナカラーズ」を読んでもいただきありがとうございました！

わたしは
こんなところで
何を……

こんな簡単な
罠に引っかかる
なんて……

貞操戦隊
ヴァンナカローズ
最終話

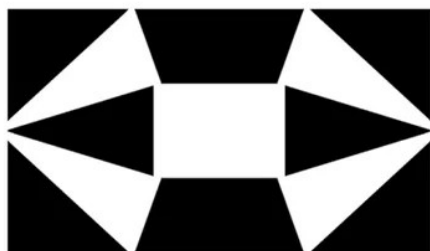
主な登場人物



アカリ
ヴァジナレッド
ヴァジナカラース隊長



ヨミ
WSAの戦闘訓練
トレーナー



WSA
(ホワイトサファイアアカデミー)



ヴァジナホワイト
WSA所属の
ヴァジナ隊員



ミオリ
WSAメカニック



アカネ
WSA最高司令官
アカリの母親



スパイとして潜入



キリノ
ブラックゲノム
ヴィラネス



シオン
ブラックヴァジナ
パープル



クロエ
黒きダイヤ幹部



ミコク
クロエの従順なる
部下



ミドリコ
ブラックヴァジナ
グリーン



黒き獣
元ヴァジナ隊員



黒き戦闘員
元ヴァジナ隊員



アオイ
元ヴァジナブルー
黒き戦闘員



黒きダイヤ

あらすじ

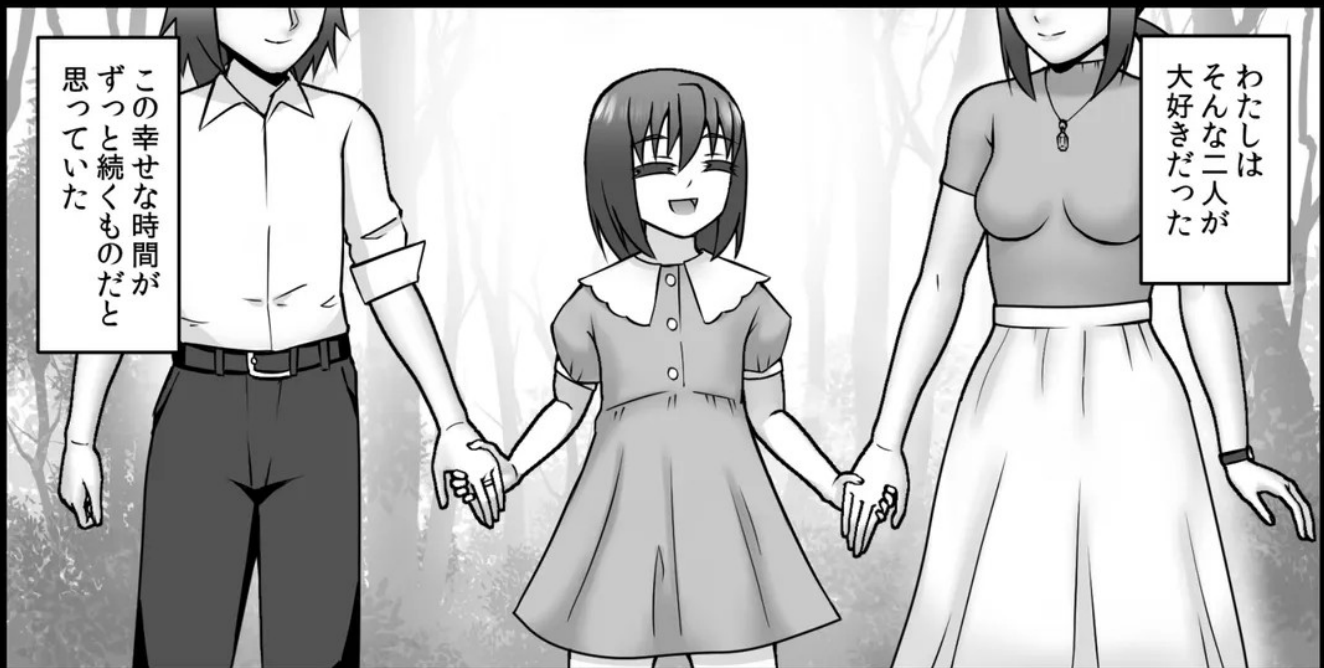
悪の組織「黒きダイヤ」によって次々と取り込まれてしまうヴァジナカラースたち……
残るはヴァジナカラース隊長のヴァジナレッド・アカリひとりのみとなってしまう。
果たしてアカリは捕らえられた母やヴァジナ隊員、そして世界を救えるのか……



少し頼りないけど
とてもやさしい
お父さん……



物静かで
しつかり者の
お母さん……



この幸せな時間が
ずっと続くものだ
と
思っていた

わたしは
そんな二人が
大好きだった



WSAの
研究員だった
お父さんが
暗殺されたのだ

黒きダイヤに
よって……



でも突然
その日は
訪れる……



アカリ

もう
泣くのは
やめなさい



ぐすっ……

お父さん
どうして……



お母さん……？



あなたが
黒きダイヤを
倒すの

ヴァジナレッド
として……



これは私が昔
使っていた
ヴァジナベルト……

これを
あなたに
託すわ



あの人の
仇を
討って……

アカリ……



あのとき
わたしは
お母さんと
誓ったんだ……

お願い……



うんッ！

必ずお父さんの
仇を討つって……

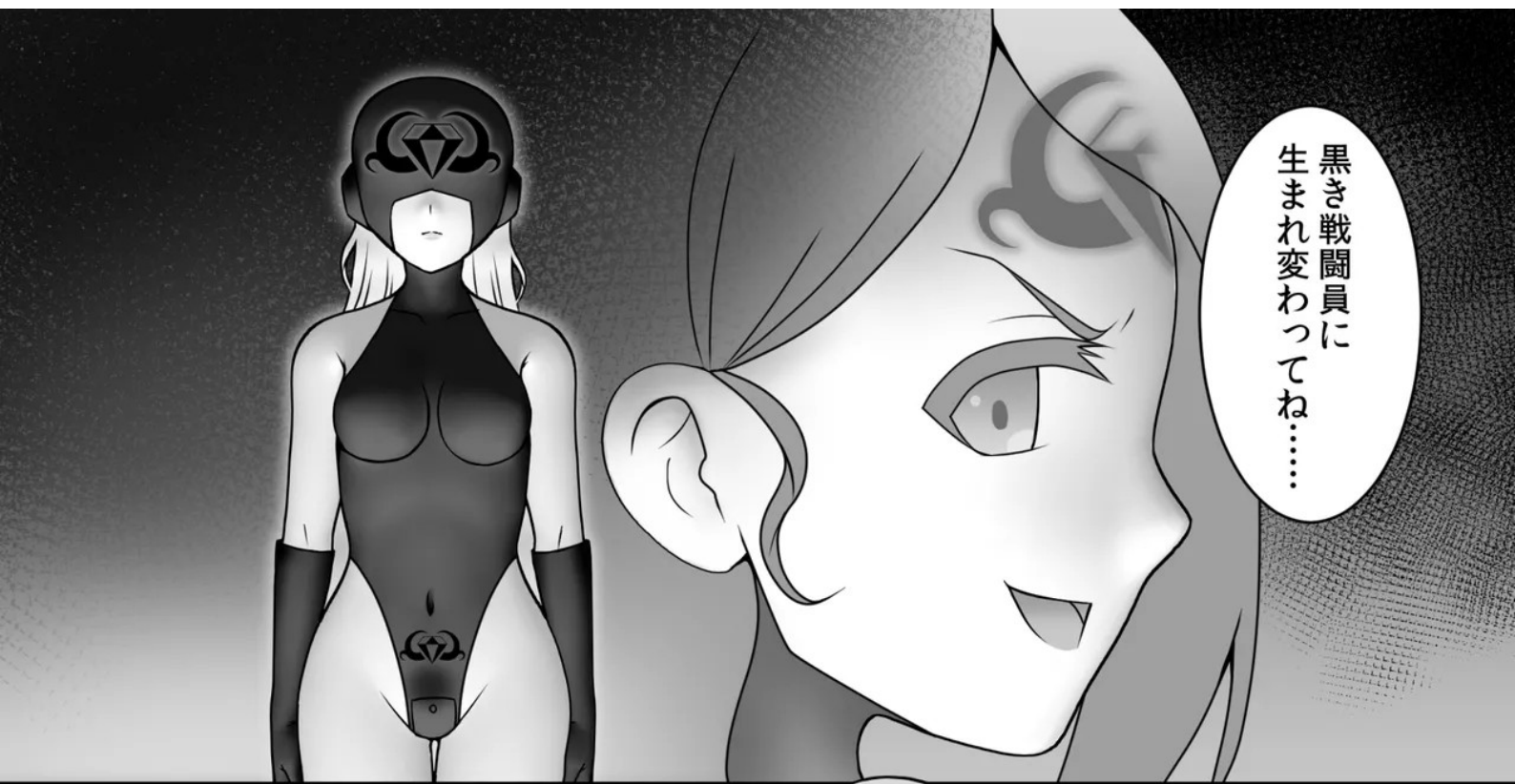


それなのに……

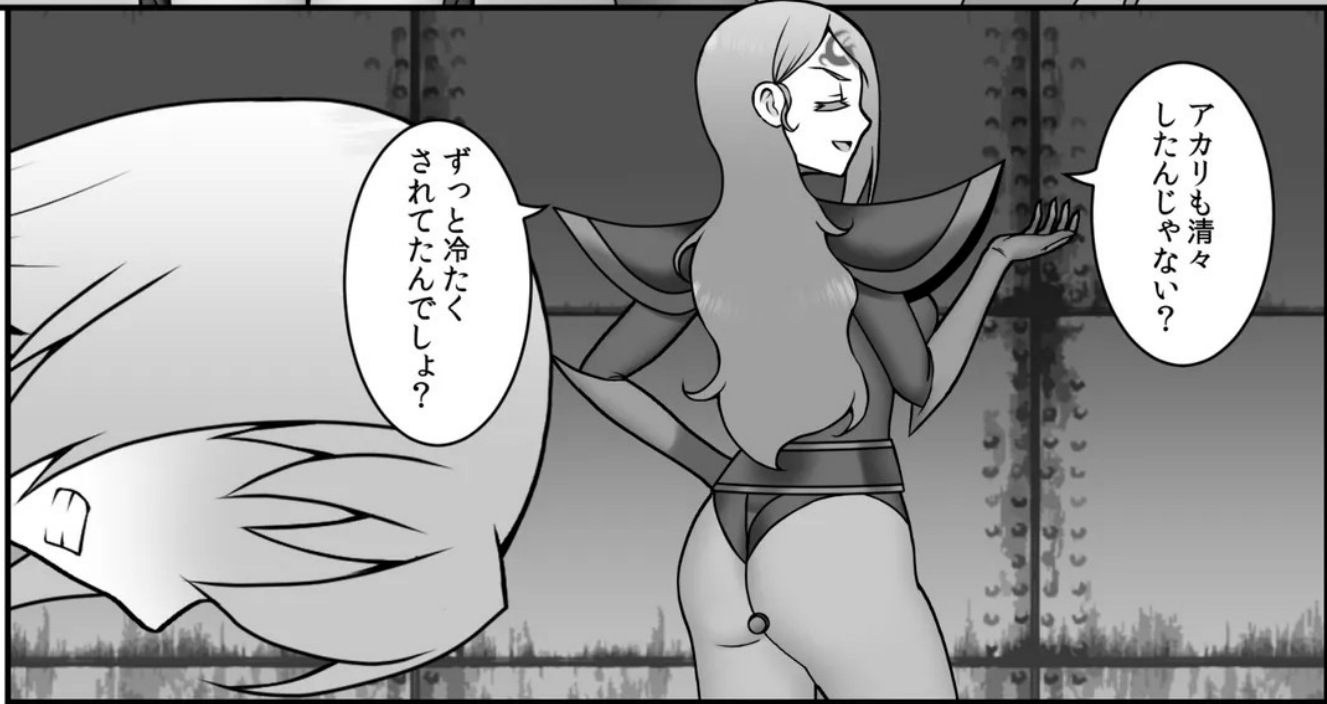
まったく……

本当にバカね
アカリ



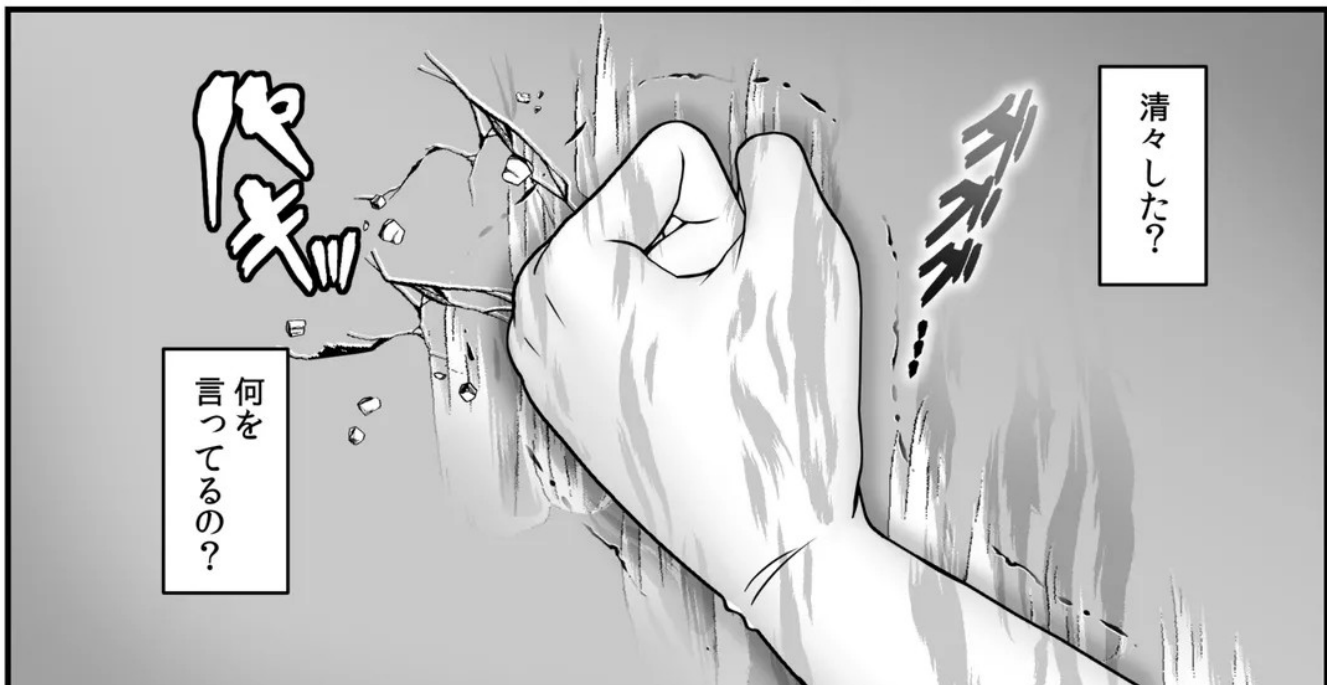


黒き戦闘員に
生まれ変わってね……



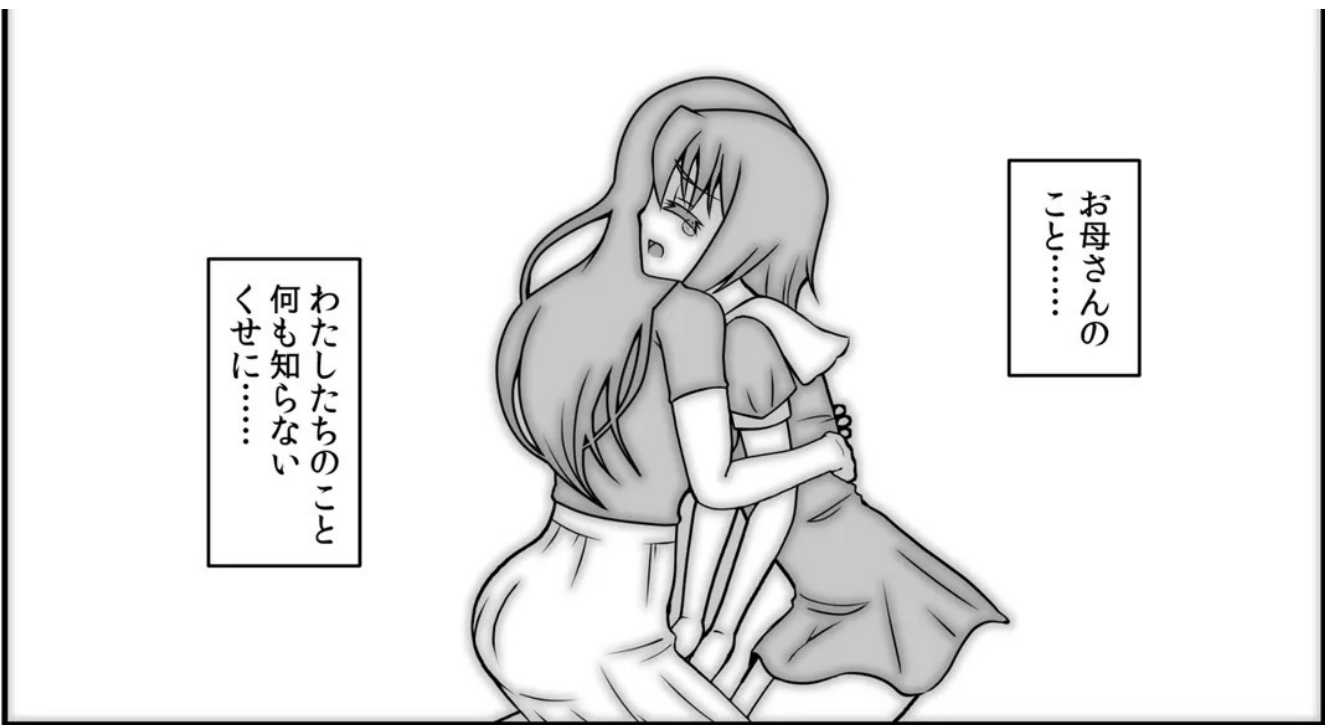
アカリも清々
したんじゃない？

ずっと冷たく
されてたんでしょ？



清々した？

何を
言ってるの？



お母さんのこと……

わたしたちのこと何も知らないくせに……



わたしはあのときお母さんと約束したんだ



心配しないでいいわ

あなたもすぐにわたしたちの仲間にしてあげるから



なッ……!!

必ず
お父さんの仇を
討つって……



もう誰も
わたしの邪魔は
させない！



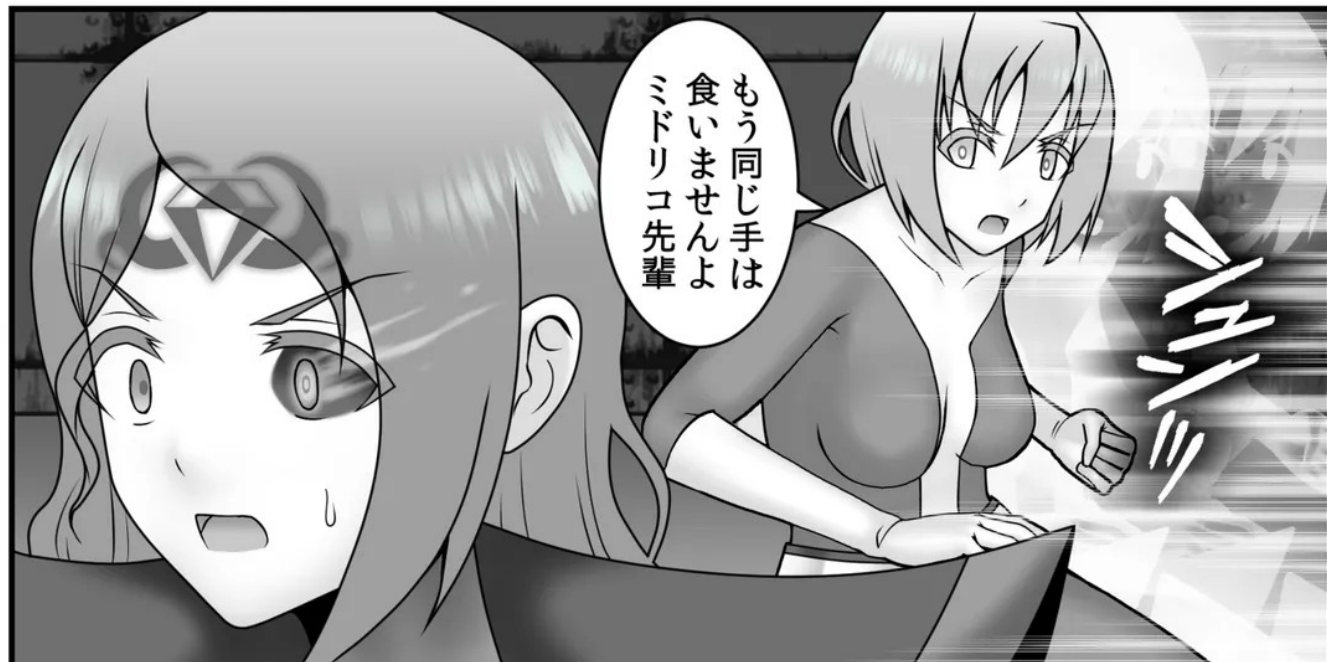
そんな……

わたしの
能力を
退けたのッ!?

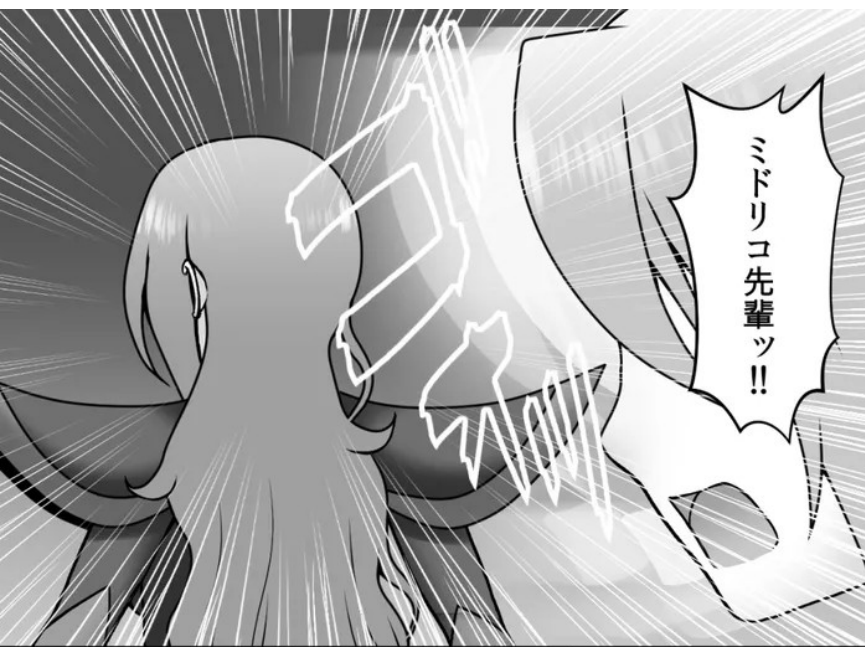




なんて
スピードと
かなの……







ミドリコ先輩!!



もう誰もわたしには追いつけないッ!

これで最後です

カツ



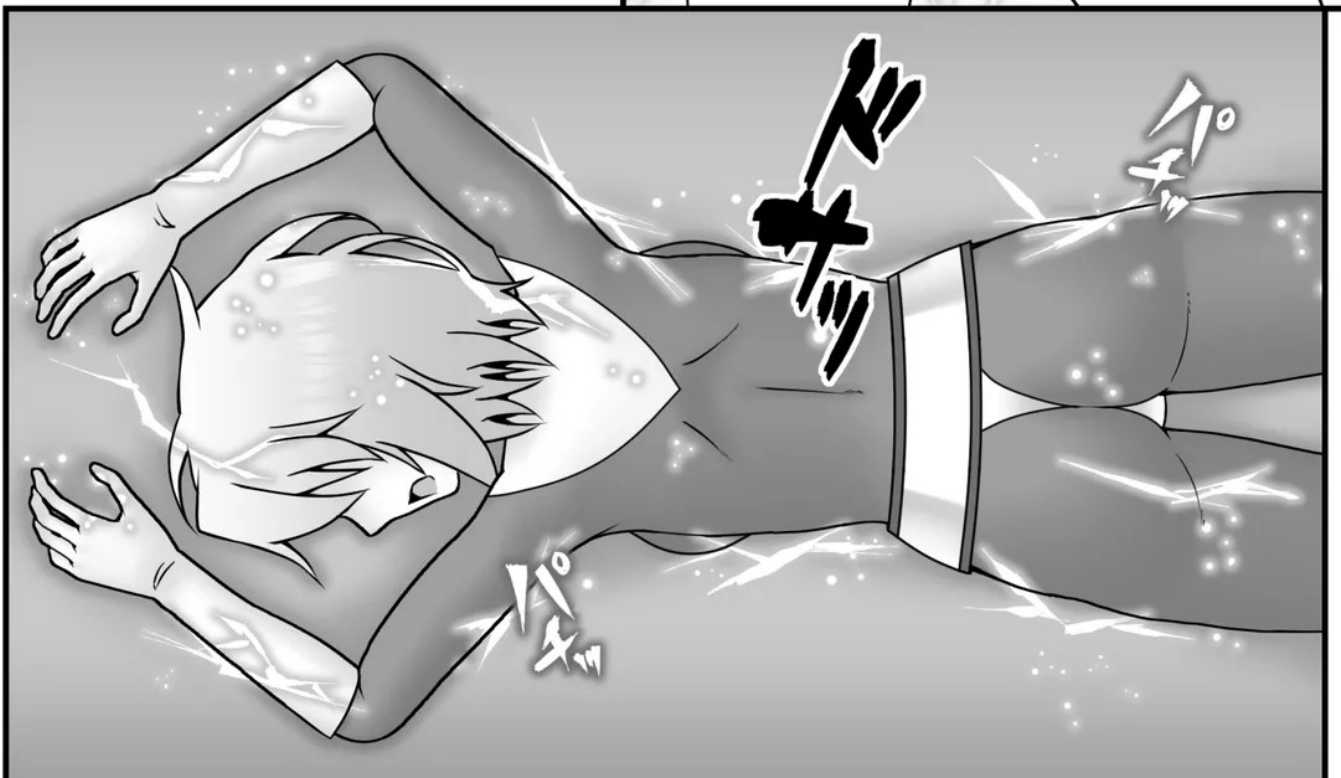
よく耐えてくれました
ミドリコ先輩

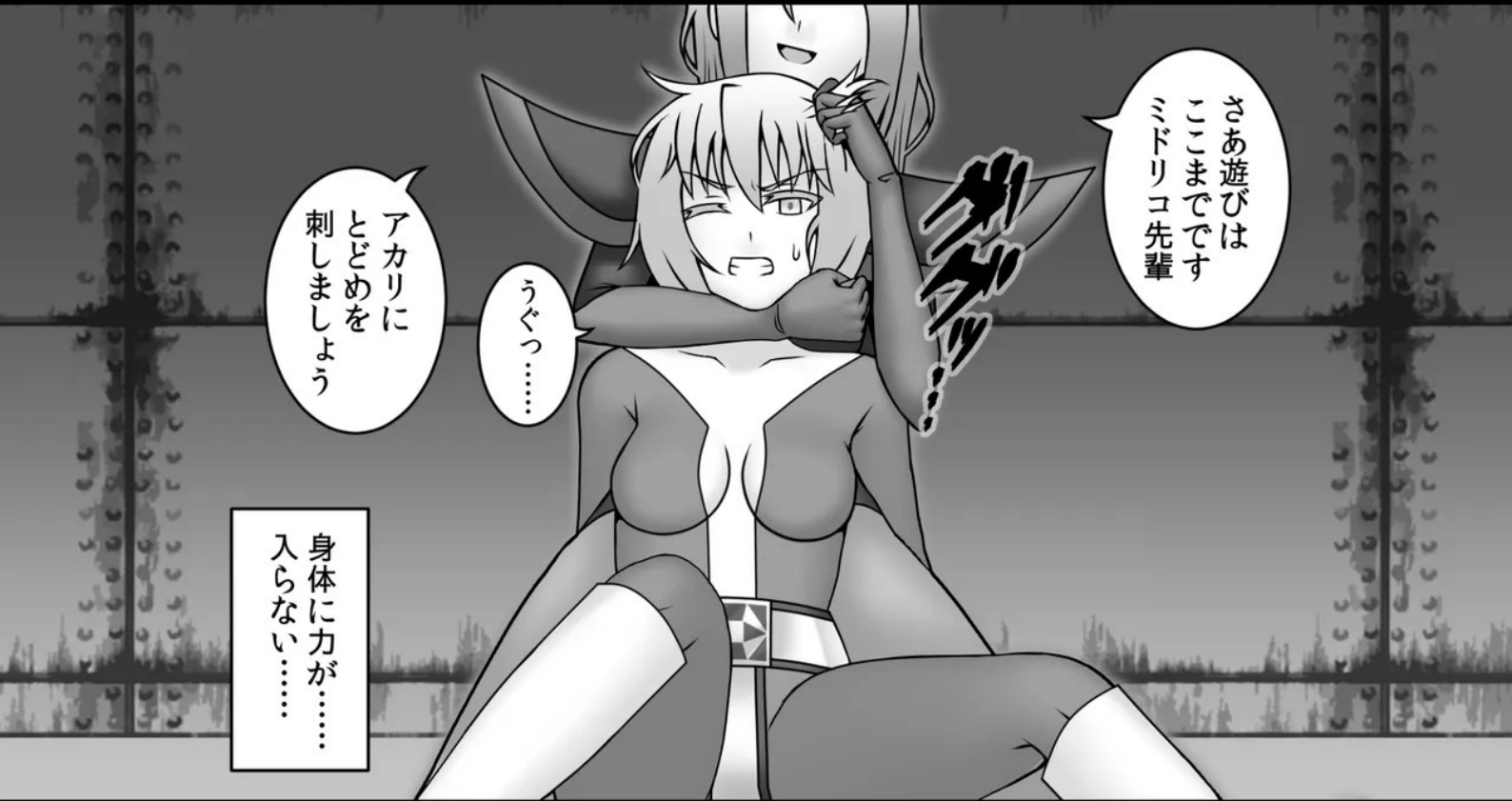
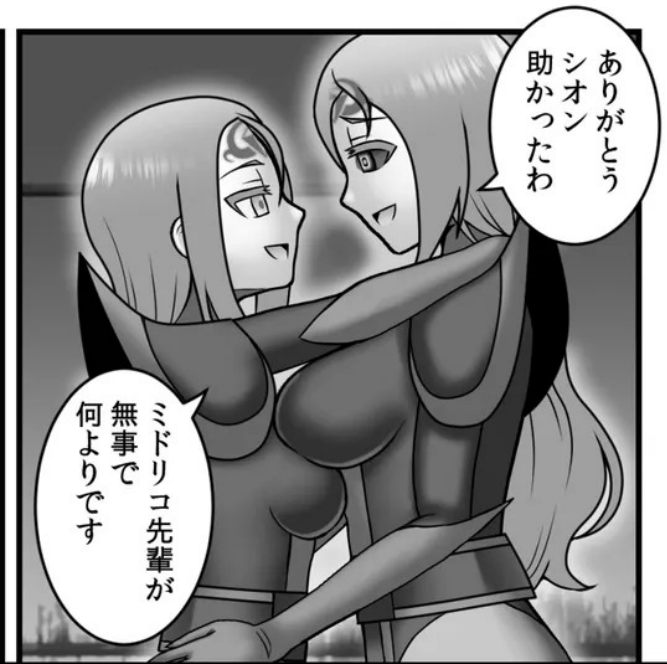
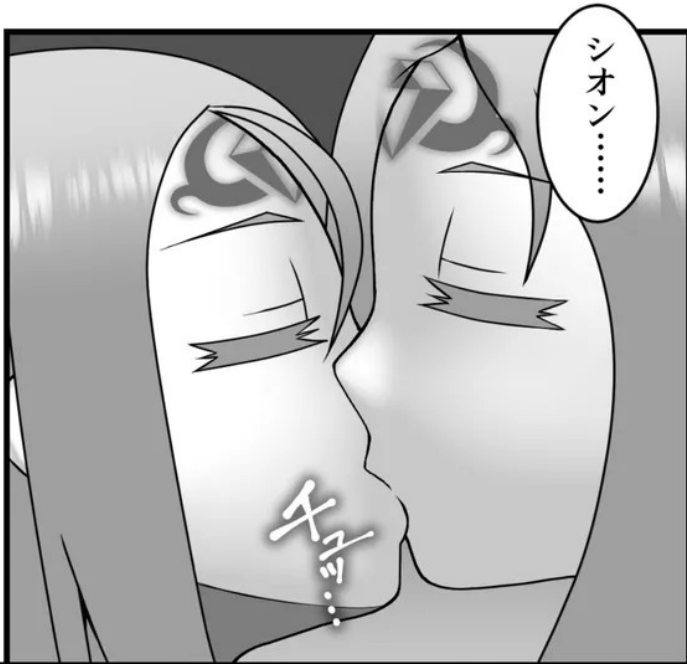
キッ

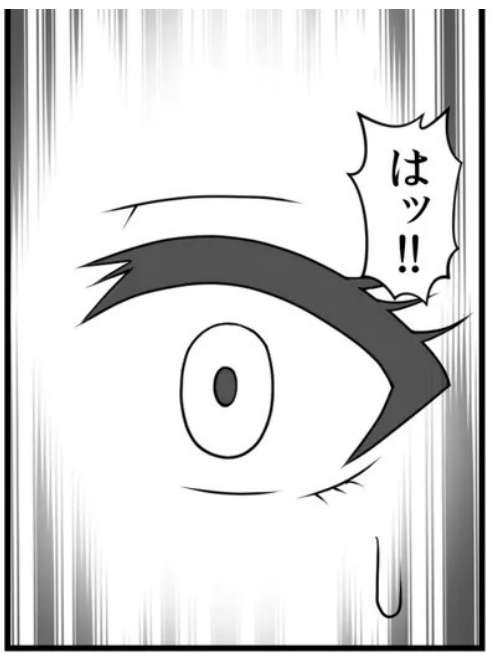
キッ



シオンッ?!











あら……
まだ疑って
いるの？

それじゃあ……



わたしの
精神世界……
本当に……？

また何かの
罠なんじゃ……

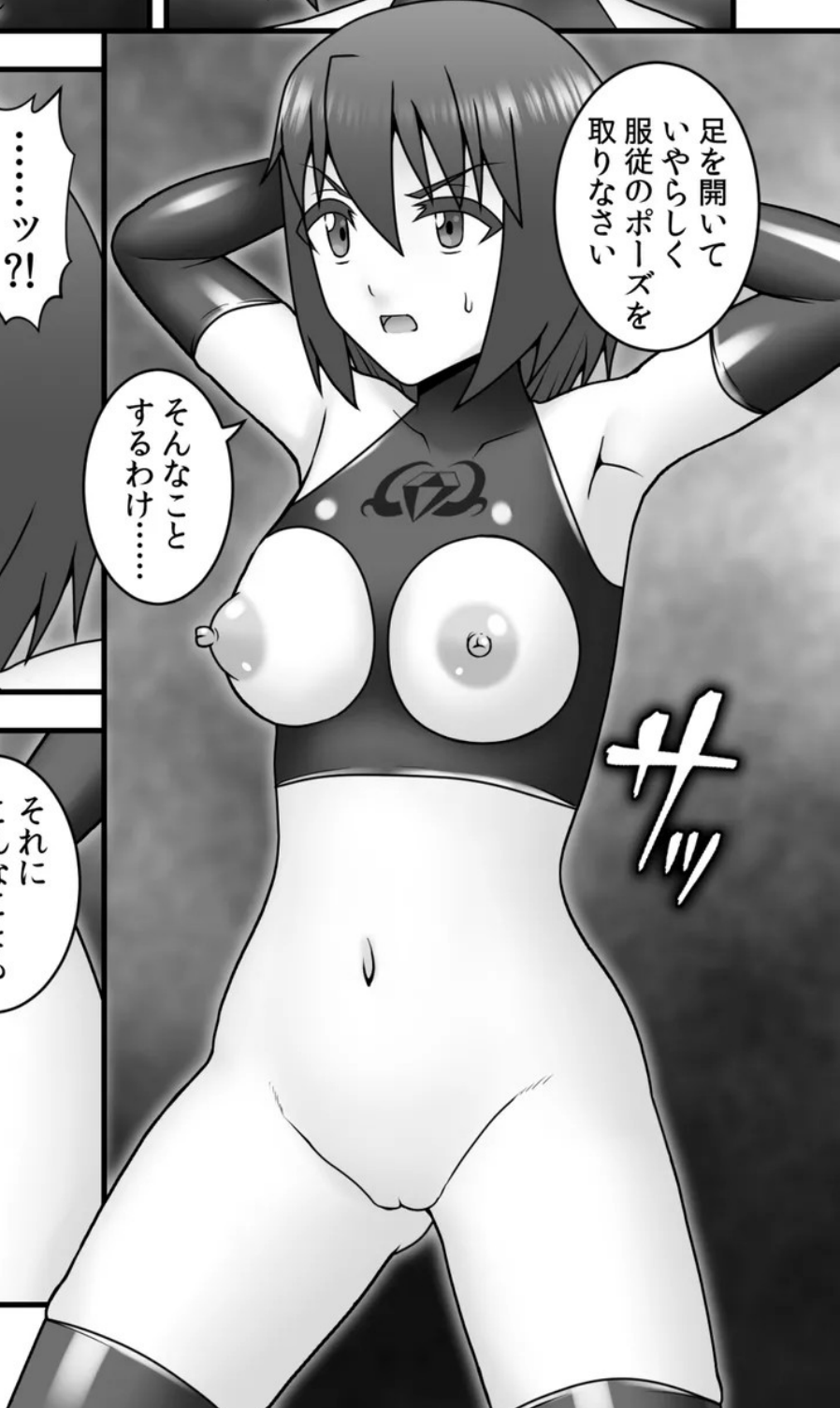


……ツ?!

言ったでしょ
すべてわたしの
思うがままだって



それに
こんなことも
できるのよ



足を開いて
いやらしく
服従のポーズを
取りなさい

そんなこと
するわけ……

サッ



くっ……

さてと……
さつきは散々
やってくれた
お返しに

たっぷり
お礼をさせて
もらおうわ



うふふ……
素敵でしょ？

ゴクッ
ゴクッ……



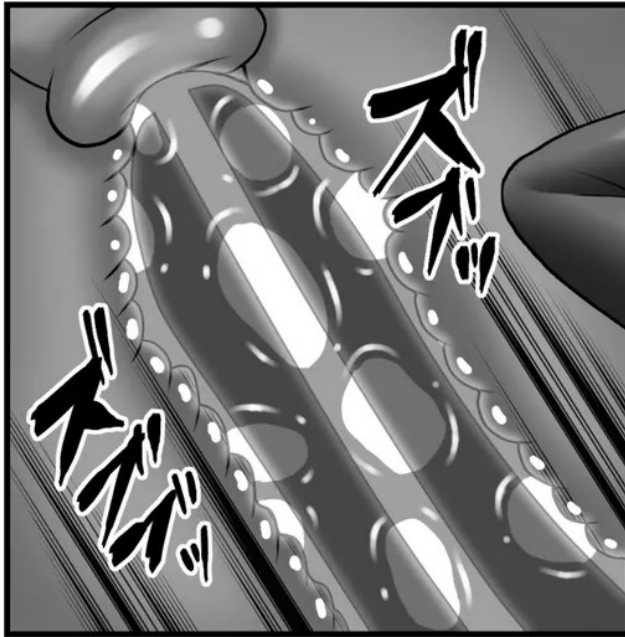
二度と
黒きダイヤに
逆らわない
ようにね

くっ……



大丈夫
安心して
アカリ

ちゃんと
わたしが躡けて
あげるから



いッ……!!



かはッ……

うふふ
アカリの初めて
もらっちゃった



こんなことを
したってわたしは
屈しません

いまは耐えて
ここから
抜け出す方法を
見つけないと……



処女を失った
気分はどう?

はッ……
離して
ください

きつと
ヴァジナの力は
失われないはず……

ここがわたしの
精神の中なので
あれば……



ひびくッ!!



あらあら
まだ自分の
立場がわかって
ないようね

じゃあ
こんなのは
どうかしら?



ひッ……



これから
何度でも
イかせてあげる

あッ……
ああ……

もう何も
考えられなく
なるぐらいね



え?
なに……
いまの……

初めての
絶頂の味は
いかがかしら

全身に電気が
走ったような
感覚……



それから
身体を操られ
ただミドリコ先輩に
されるがまま……

くッ!

うふふ
抵抗しても
無駄よ

はあッ!!

あんッ!

あきらめなさい
アカリ

ああッ!!

もうあなたは
この快樂に
抗う術はないの

そんなわたしを
あざ笑うかのように
指を鳴らされ



うあああッ!!

必死の抵抗とは
裏腹に身体は
言うことを
聞かない



強制的に
絶頂させられる



さあ舌を出して……

次第に身体は
どんどん快楽に
順応していき



抵抗する力を
奪っていく……

クググ



絶頂の瞬間
頭は真っ白になり

そうよ
もつと腰を
動かして

わたしは
ただ快感に
身体を震わせる
しかない

んんッ!

何も考えず
快楽に身を
任せるの



だめ……
こんなの……
快楽に流されて
しまう……

ああああッ!!

このままじゃ
いずれ
心さえも……



ここは
あなたの
精神世界……

心の反応が
身体に影響を
与えたの

自分は
小さくて
弱い存在
だってね……

わたしは
弱い存在……

1/4……

顔を
上げなさい
アカリ

え……？

お母さん……？



アカリ
もういいの

こんな快樂に
勝てる人間なんて
いないわ



そして
お父さんの
ためにも……



だめ……

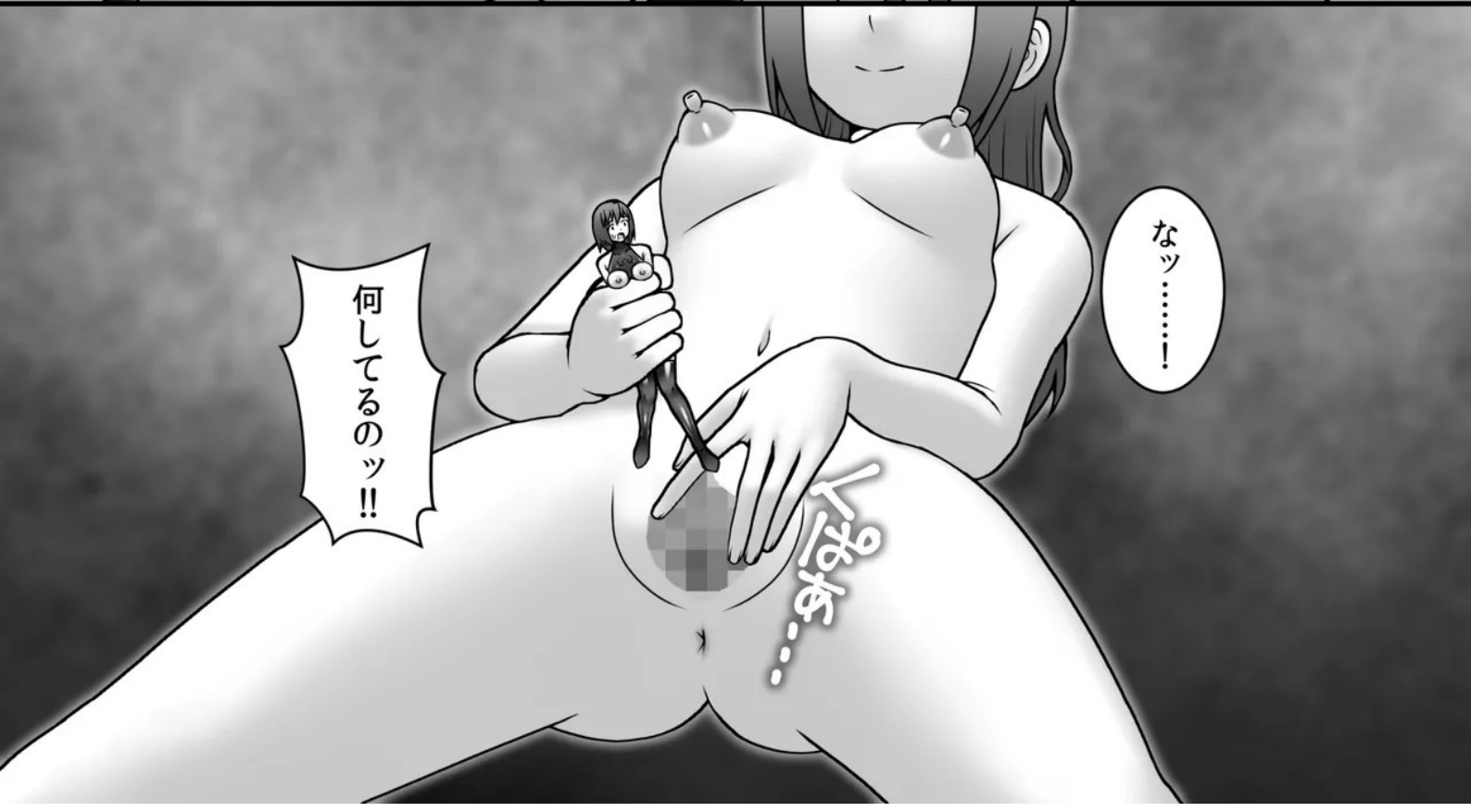
ヴァジナレッドの
わたしが
負けるわけには
いかないの

世界のためにも
WSAのみんなの
ためにも



そうだ
わたしは……

あのときの
お母さんとの
約束を守る
ために……



あ……
お母さんの
膣内に
飲み込まれ……

ひとつに
なりましょう

ガクッ

お母……
さ……

私の膣内に
来て……

あっ……
ああッ……

ズズズ

さあ
アカリ……

オキッ

ひっ……

ガクッ

ズズズ

だめ……
ここから
出ないと……

出ないと
いけないのに……

お母さんの膣内
あたたかくて
安心する……

気持ちよくて
抵抗する力が
湧いてこない……

わたし……
お母さんと一緒に
いられるのなら

もう……

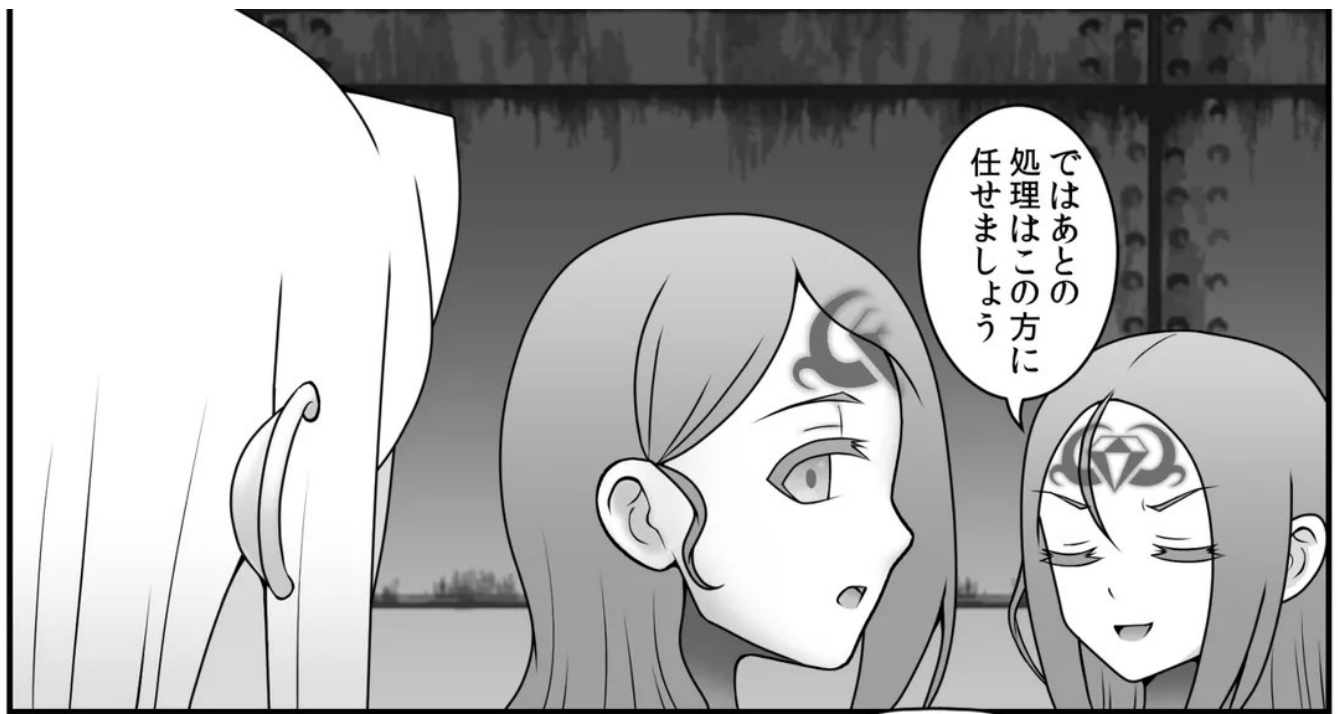
終わったのですね
ミドリ先輩

ええ……

アカリの
心は完全に
折れたわ

もう
戦う必要も
ないでしょう

……うん



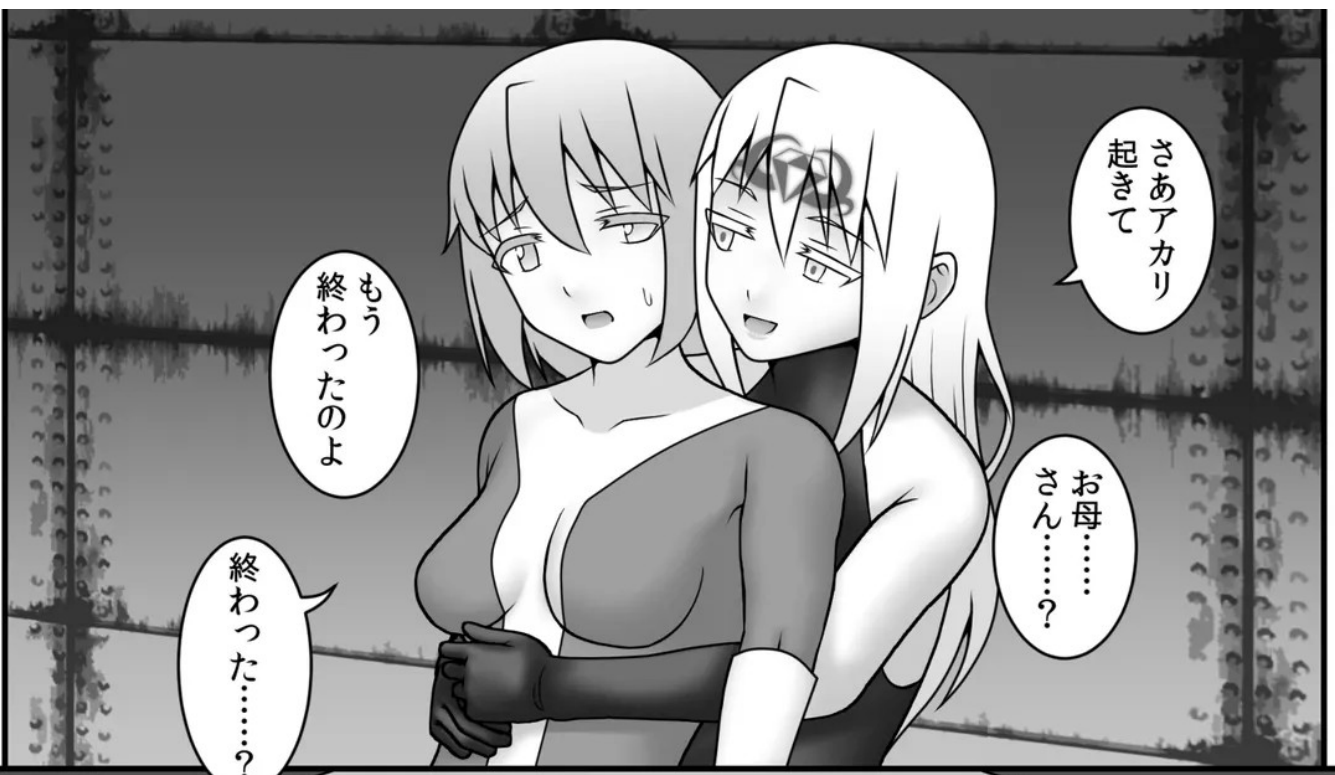
ではあとの
処理はこの方に
任せましょう



アカネ司令
いえ……

黒き戦闘員
アカネ

はッ！
お任せください
シオン様



さあアカリ
起きて

もう
終わったのよ

お母……
さん……？

終わった……？



私たちは
負けたの……

黒き
ダイヤにね

あッ!!

黒
ダイヤ



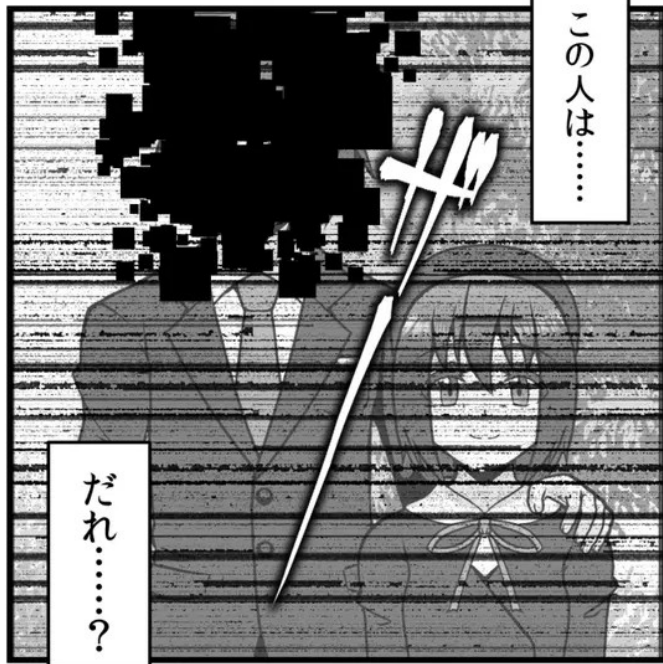
でもアカリも
わかった
でしょう？

快樂に身を
委ねることが
こんなに幸せな
ことだって……

だめ……
抵抗……
できない……

……

……



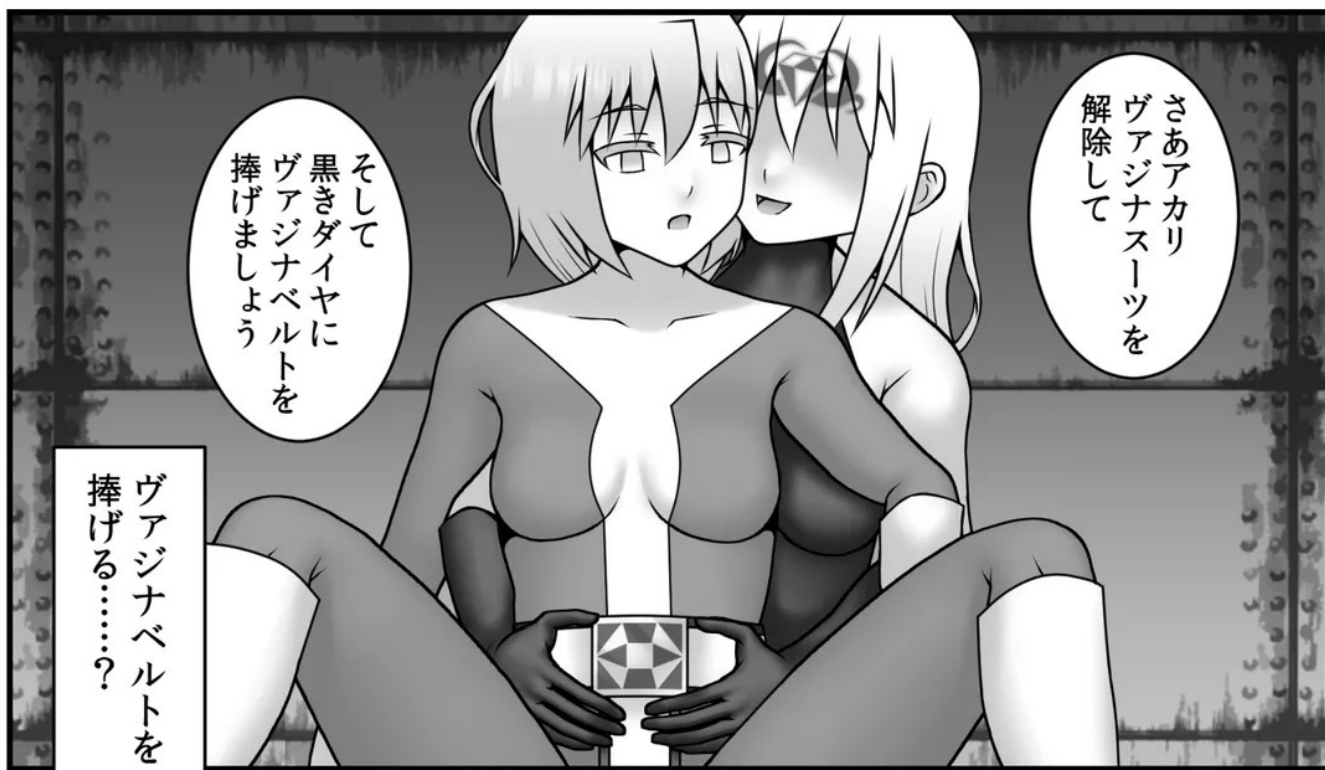
この人は……

だれ……？



あれ？
わたし……

何のために
戦ってたんだっけ？



さあアカリ
ヴァジナスーツを
解除して

そして
黒きダイヤに
ヴァジナベルトを
捧げましょう

ヴァジナベルトを
捧げる……？



そうすれば
私たちは
ずっと一緒に
いられるの

ずっと
一緒に……

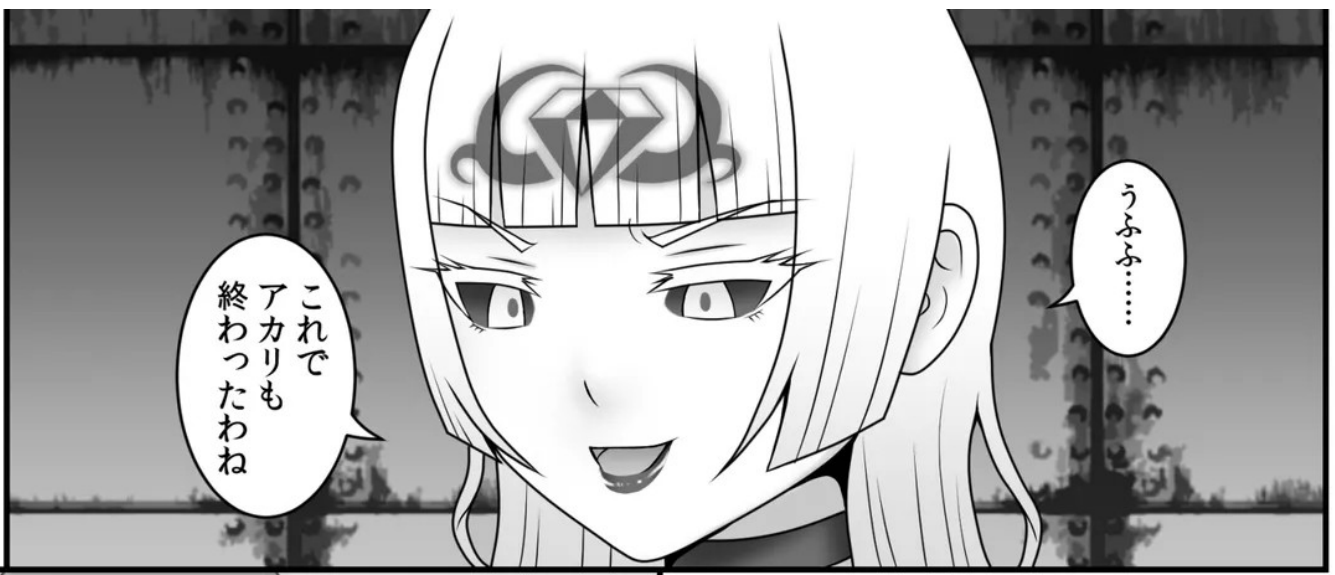
お母さんと
ずっと一緒に
いられるのなら……

オマケ

もう何も
いらない……

オマケ







ハルカよ……
もう
よいのでは
ないか？

ええ
もうなにも
悔いはないわ



こうやって
あの男から
アカネを
取り戻せたの
ですもの

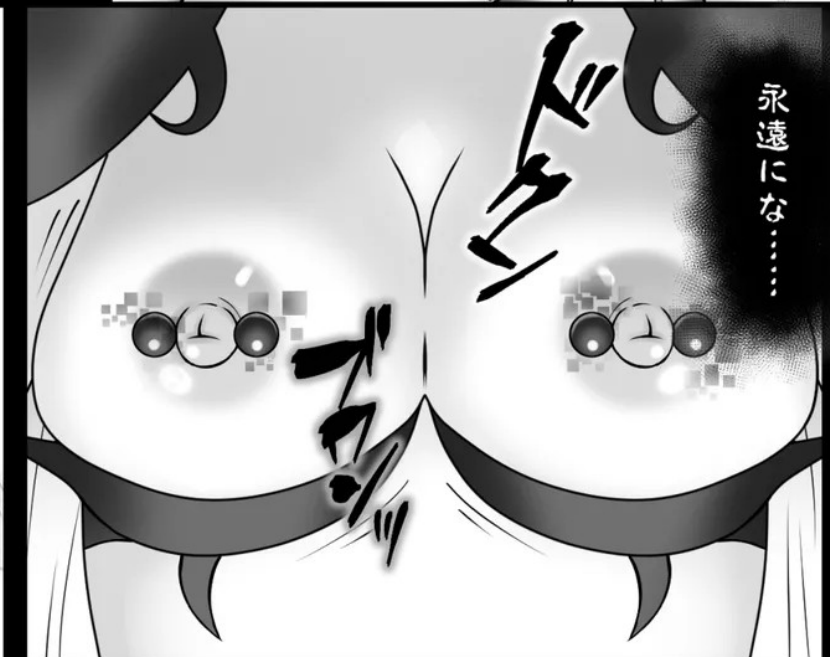


おまの身体を
いただくという
約束をなッ！



おまの望みどおり
復讐も果たせた

では今こそ
約束を守って
もらおうぞ……





ようやく
戻ってきたぞ……

ククク……



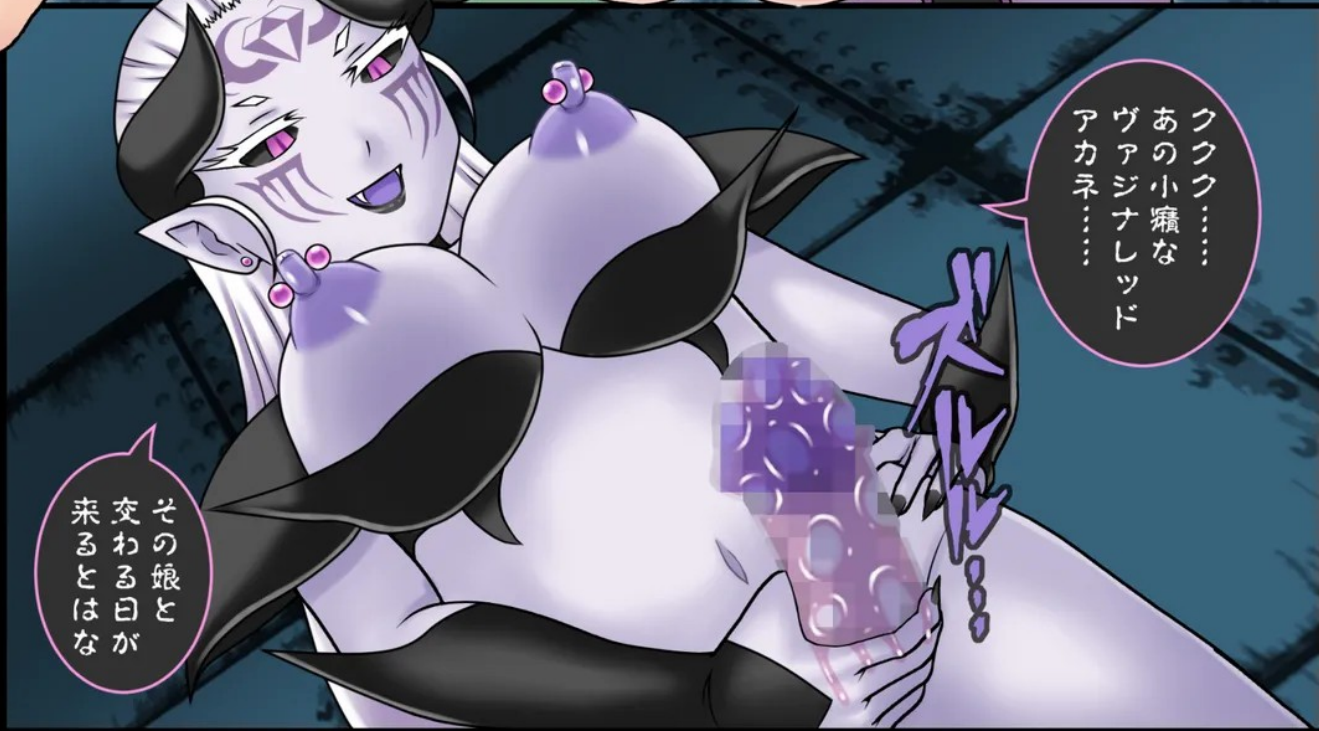
この世界を支配し
黒に染めし者……

わらわこそ
黒きダイヤの女王
クロエ



ふむ……
良い獲物も
いることじゃ

さっぞく
この身体が
どれほどのものか
試してみるかのう



ククク……
あの小癪な
ヴァジナレッド
アカネ……

その娘と
交わる日が
来るとはな



存分に
受けるがよい

ヒッ!

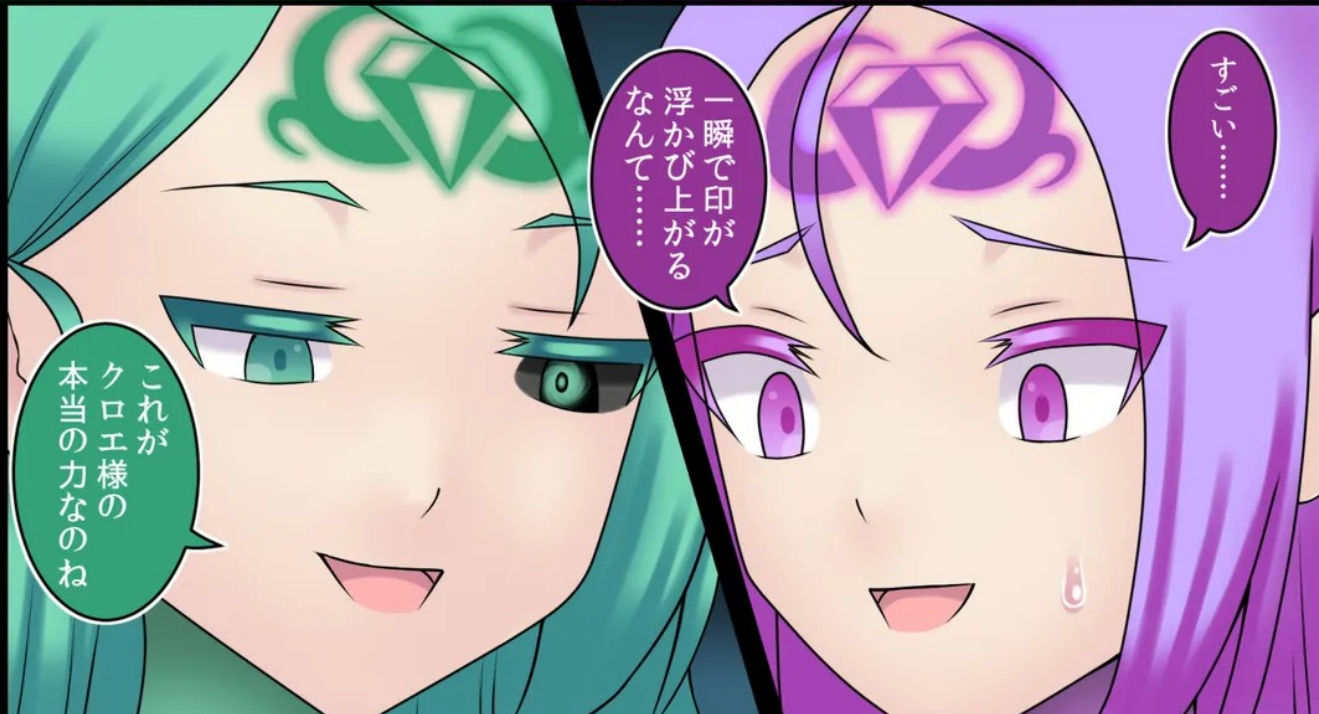


親子で
わらわに
齒向かった
罪……

キョウ!



あああああッッ!!



これが
クロエ様の
本当の力なのね

一瞬で印が
浮かび上がる
なんて……

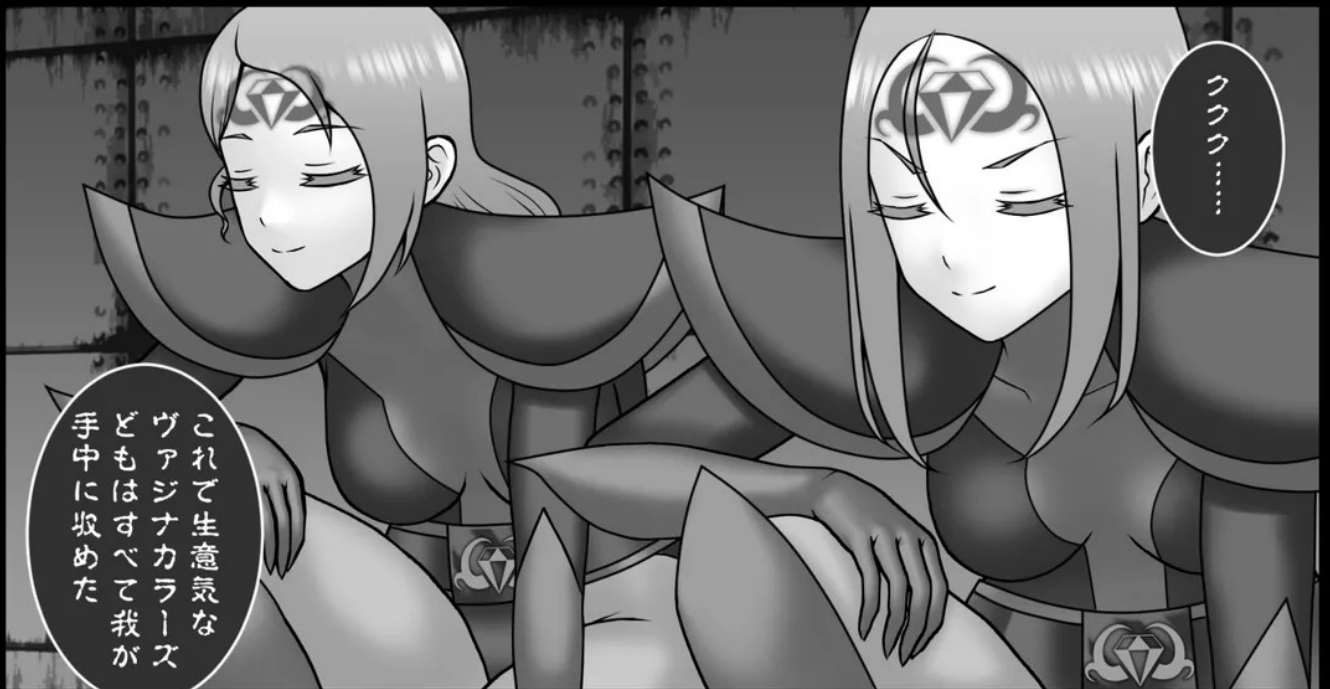
すごい……





申し分ない
カじゃ

さすがこの
わらわを倒した
ヴァジナフルー
ハルカの
恵まれた肉体……

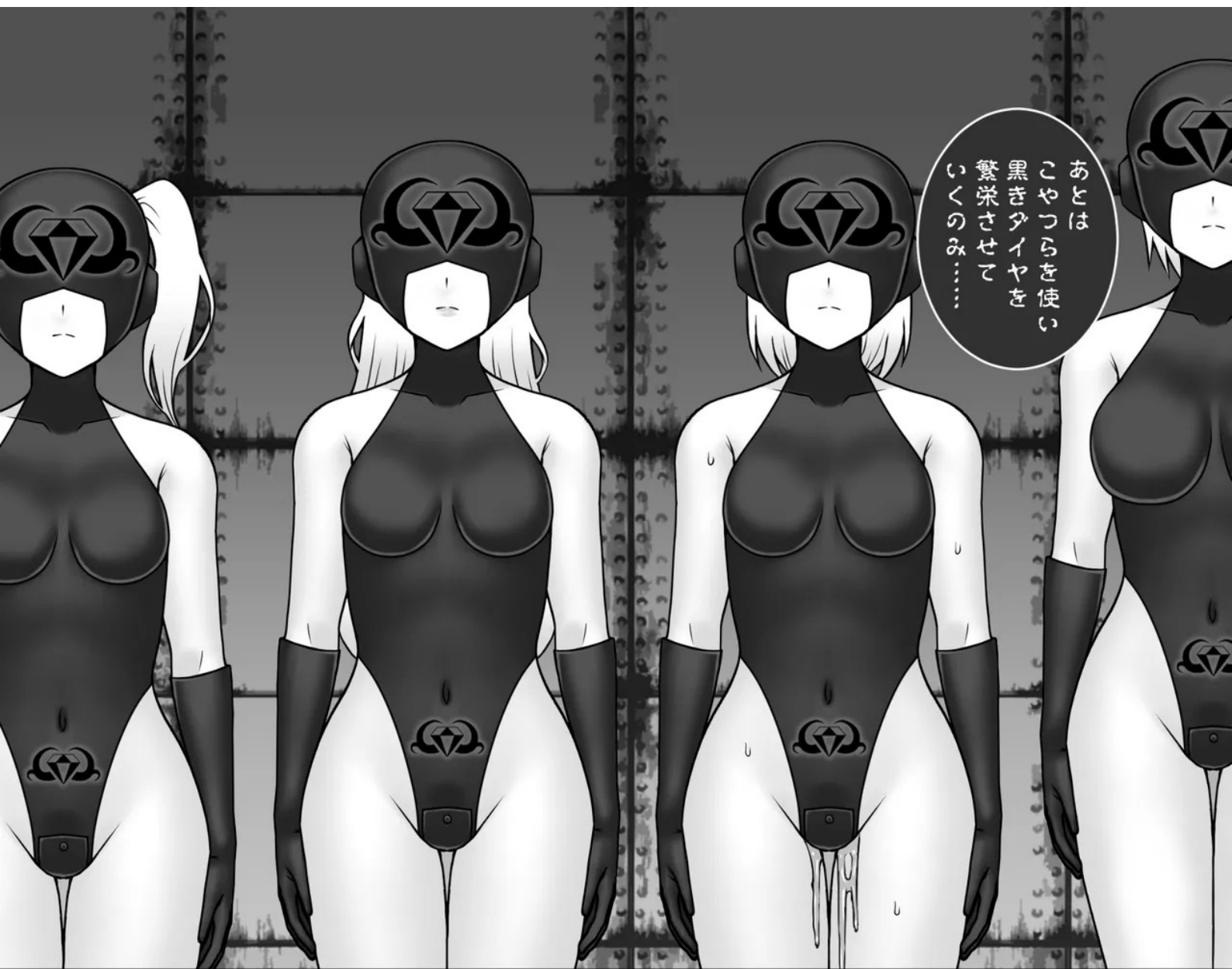


これで生意気な
ヴァジナカラーズ
どもはすべて我が
手中に収めた

フクフク……



もうわらわに
逆らう者もなく
なるであろう



あとは
こやつらを使い
黒きダイヤを
繁殖させて
いくのみ……



フハハハハハッ！

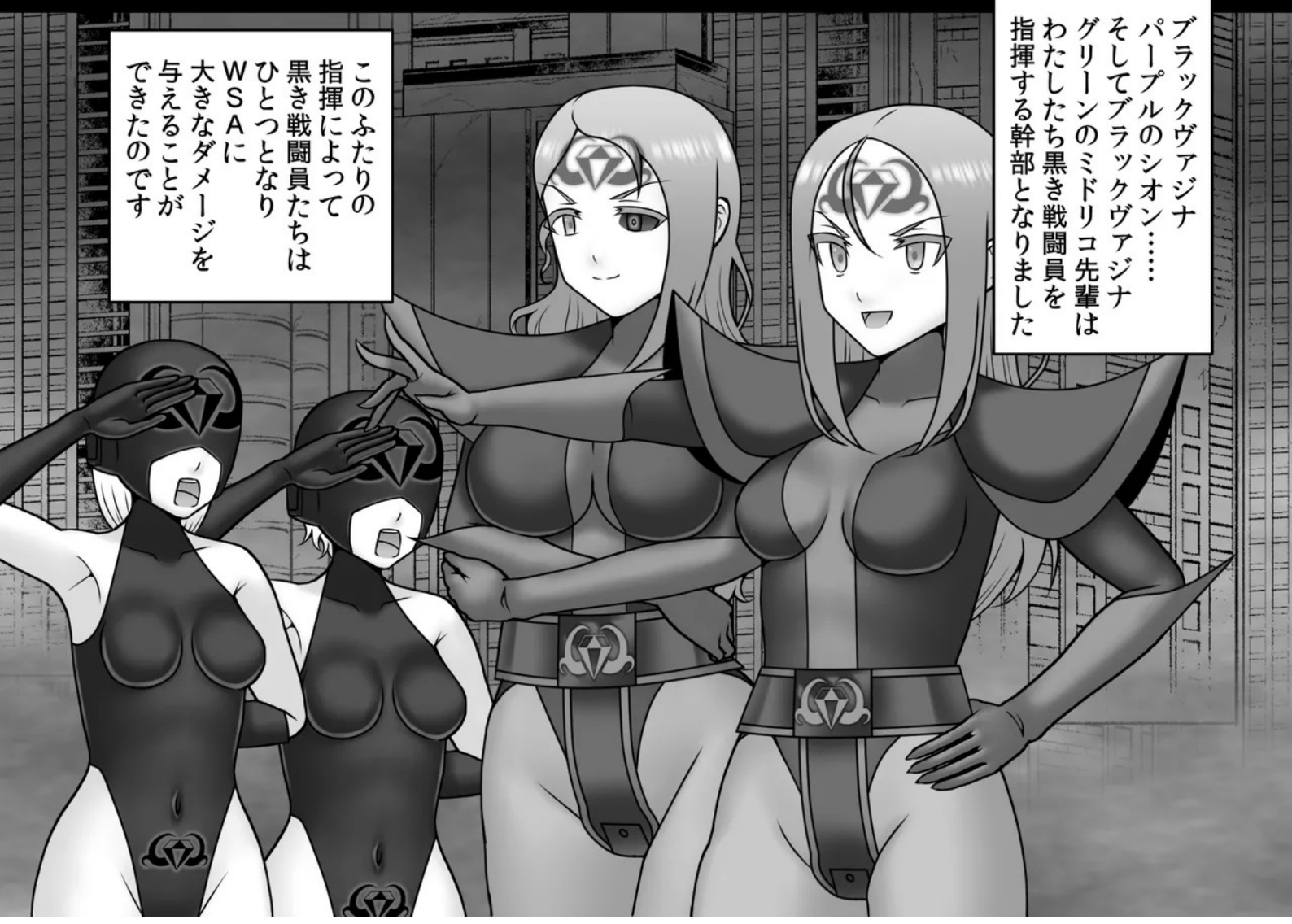
今度こそ
わらわが
この世界を
支配して
くれようぞ

それから世界が
黒に染まるのに
そう時間は
かかりませんでした……



その後
黒きダイヤは
WSAに総攻撃を
仕掛けました

そこでは
黒き戦闘員の
アオイ先輩が
先頭に立ち
活躍したといひます



ブラックヴァジナ
パープルのシオン……
そしてブラックヴァジナ
グリーンのミドリコ先輩は
わたしたち黒き戦闘員を
指揮する幹部となりました

このふたりの
指揮によって
黒き戦闘員たちは
ひとつとなり
WSAに
大きなダメージを
与えることが
できたのです



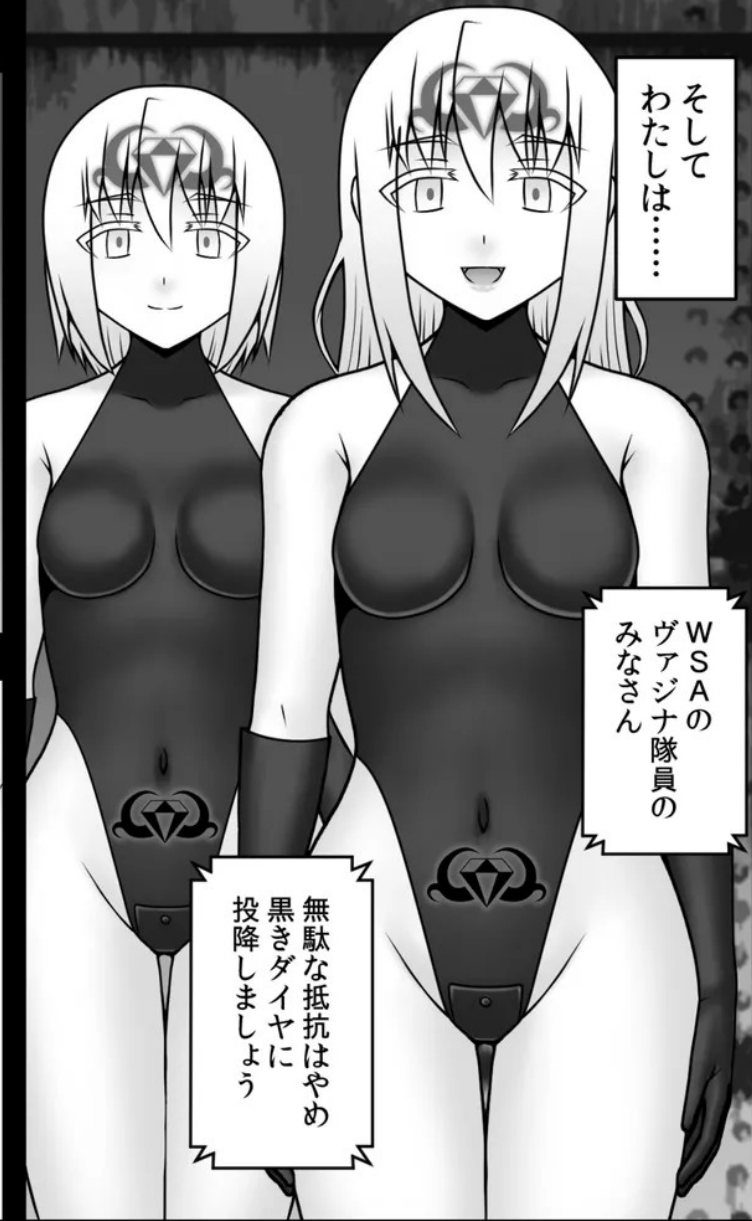
キリノは
ミコク様の
従順な部下として
黒き獣を従え
実験体となる
ヴァジナ隊員を
捕らえ連れ帰って
いるようです



そして
ヴァジナ隊員たちを
ブラツケゲノム
ヴァイラネスに
生まれ変わらせ
その数を増やし
続けているのです



そして私たちの
仲間になり
クロエ様のために
生きるのです



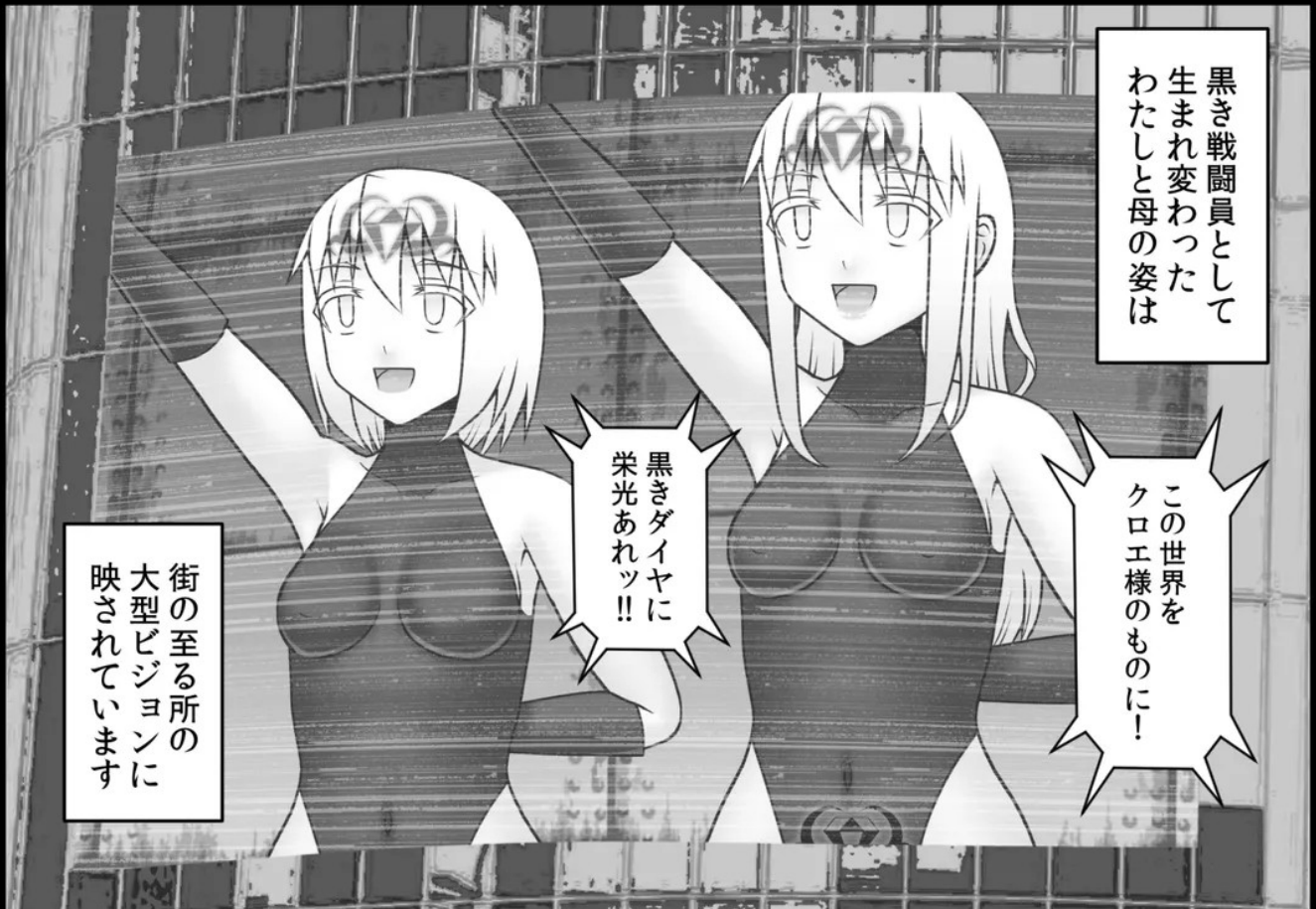
そして
わたしは……

W S Aの
ヴァジナ隊員の
みなさん

無駄な抵抗はやめ
黒きダイヤに
投降しましょう



それが私たちの
喜びであり
幸せなのです



黒き戦闘員として
生まれ変わった
わたしと母の姿は

この世界を
クロエ様のものに！

黒きダイヤに
栄光あれッ！！

街の至る所の
大型ビジョンに
映されています

W S A の
英雄であつた
わたしたちの
その惨めな姿に

数多くの
ヴァジナ隊員たちが
心を折られたと
いいます

そして
ヴァジナカラーズを
失つた W S A には
抵抗する力はなく

瞬く間に
黒きダイヤの一員に
生まれ変わった
わたしたちの
手によって
制圧されたのです

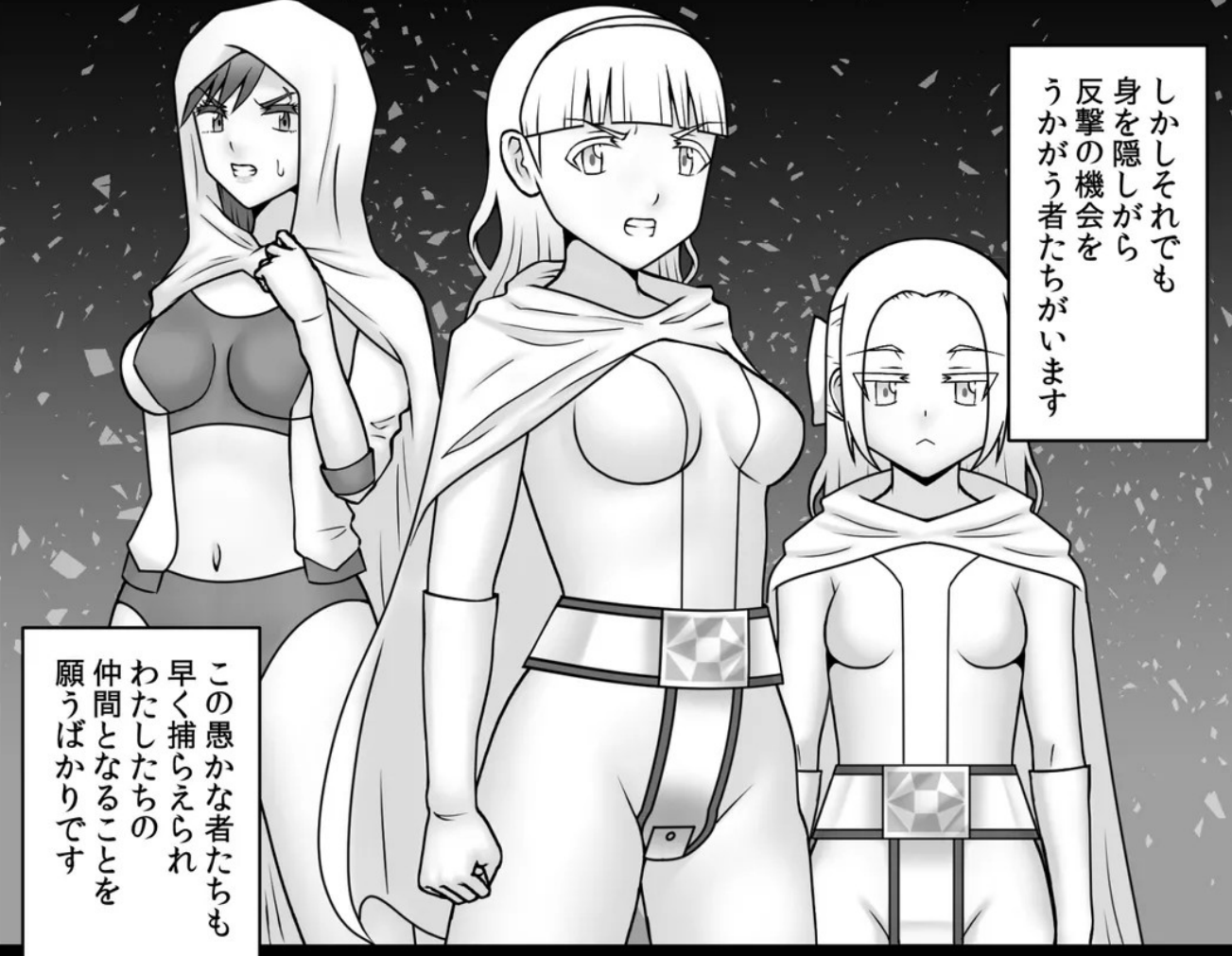




W S A 制圧後
所属していた
半数以上の
ヴァジナ隊員たちは
黒きダイヤに
連行され……





その姿を
わたしたちと
同じように
黒き戦闘員へと
変えました



しかしそれでも
身を隠しながら
反撃の機会を
うかがう者たちがいます

この愚かな者たちも
早く捕らえられ
わたしたちの
仲間となることを
願うばかりです



そして世界は
女王クロエ様率いる
黒きダイヤの支配下
に置かれることと
なったのです……



おまたちのおかげで
制圧はスムーズに
進めることができた

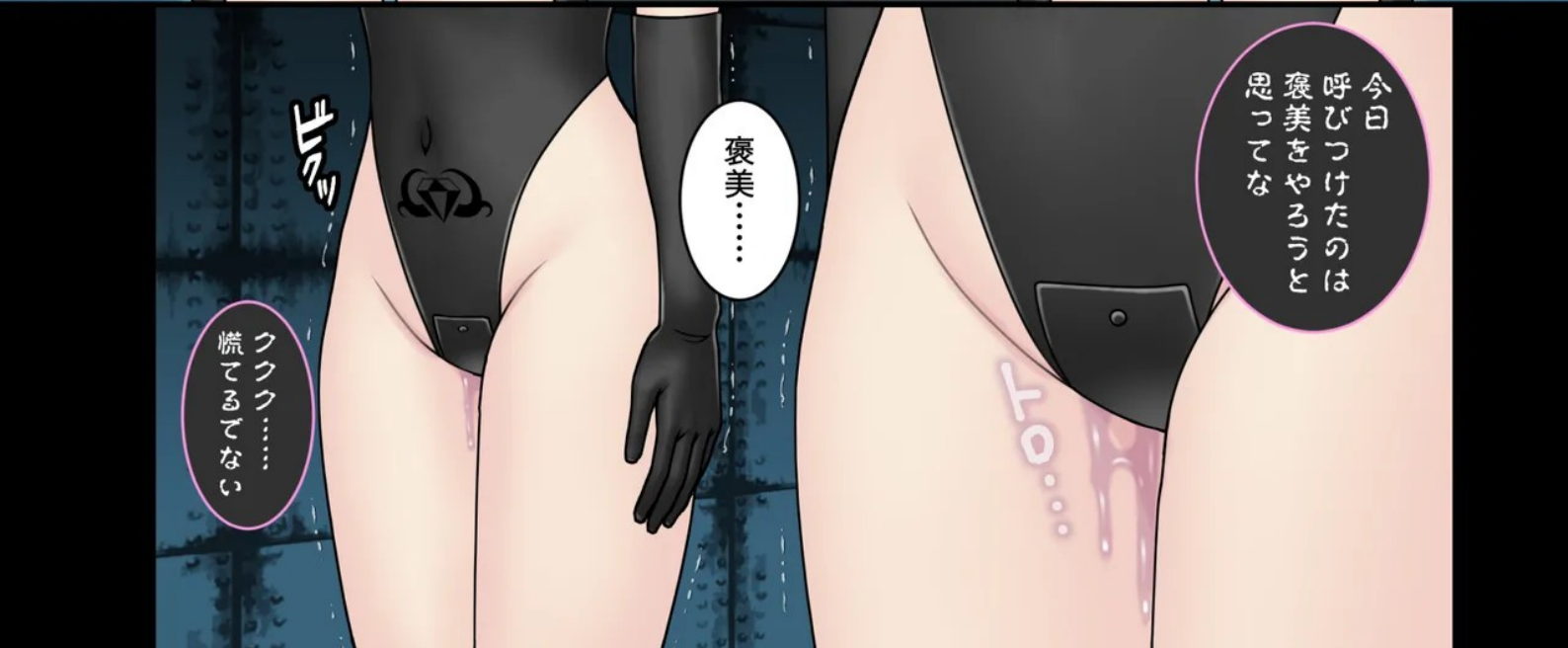
アカネ
アカリ



さすが
世界の希望であった
ヴァジナレッドじゃ

ありがとうございます
ござります

クロエ女王様の
お役に立てて
光栄です



今日
呼びつけたのは
褒美をやるうと
思ってたな

褒美……

ククク……
慌てるてない



アカリよ……



何も言わずとも
おまの希望は
わかっておる



身体が……

わたしの
身体が
溶けていく……



わたしが
わたしじゃ
なくなつて……

あッ……



んんんんんんツ!!



ククク……
見事に玩具と
成り果てたな
アカリよ

さあアカネ
存分に
可愛がって
やるがよい

はッ！
ありがとうございます
クロエ様

ああ……
アカリ
こんな姿に
なつて……

とても
いやらしくて
素敵よ





私たちは
ずっと一緒よ



さあ
私の膣内で
ひとつに
なりましょう



あかりいいいいツツ!!

こうして
わたしの戦いは
幕を閉じました

わたしはいま
満たされた
幸せな毎日を
送っています

こんな幸せを
与えてくれた
クロエ様には
感謝しても
しきれません

この世界を
クロエ様のものに！

黒きダイヤに
栄光あれッ!!

これからも
ずっとこの幸せを
感じながら
存在できればと
そう願っています

お母さんの
膣内で……

終

貞操戦隊 
ヴァジナカレース
最終話

制作 : IceLee / STUDIO HP+

Twitter : icelee_i3

pixiv : 63625

Mail : i3-hpplus@infoseek.jp

HP : <http://studiohpplus.sakura.ne.jp/>

未成年者の購読・閲覧を禁じます。
無断複製・転載・アップロードを禁じます。

ヴァジナレッド・アカリの能力



ヴァジナレッド・アカリの能力は瞬速。
目にもとまらぬ速さで攻撃を行う。
攻撃の度にどんどん加速し攻撃力も増していく。



第一話でアカリがシオンを助けるシーンも
この瞬速能力を使っている。

ちなみにアカリは蹴り技を得意としている。

アカリの父親



アカリの父親はアカネと結婚前から
WSAでヴァジナベルトの研究をしていた。
ほとんど女性職員のWSAで男性が勤めるのは
異例でそれほど研究員としての才能があった。

暗殺されたのはヴァジナベルトの秘密を
握っていたという噂も……

アカネとハルカの関係



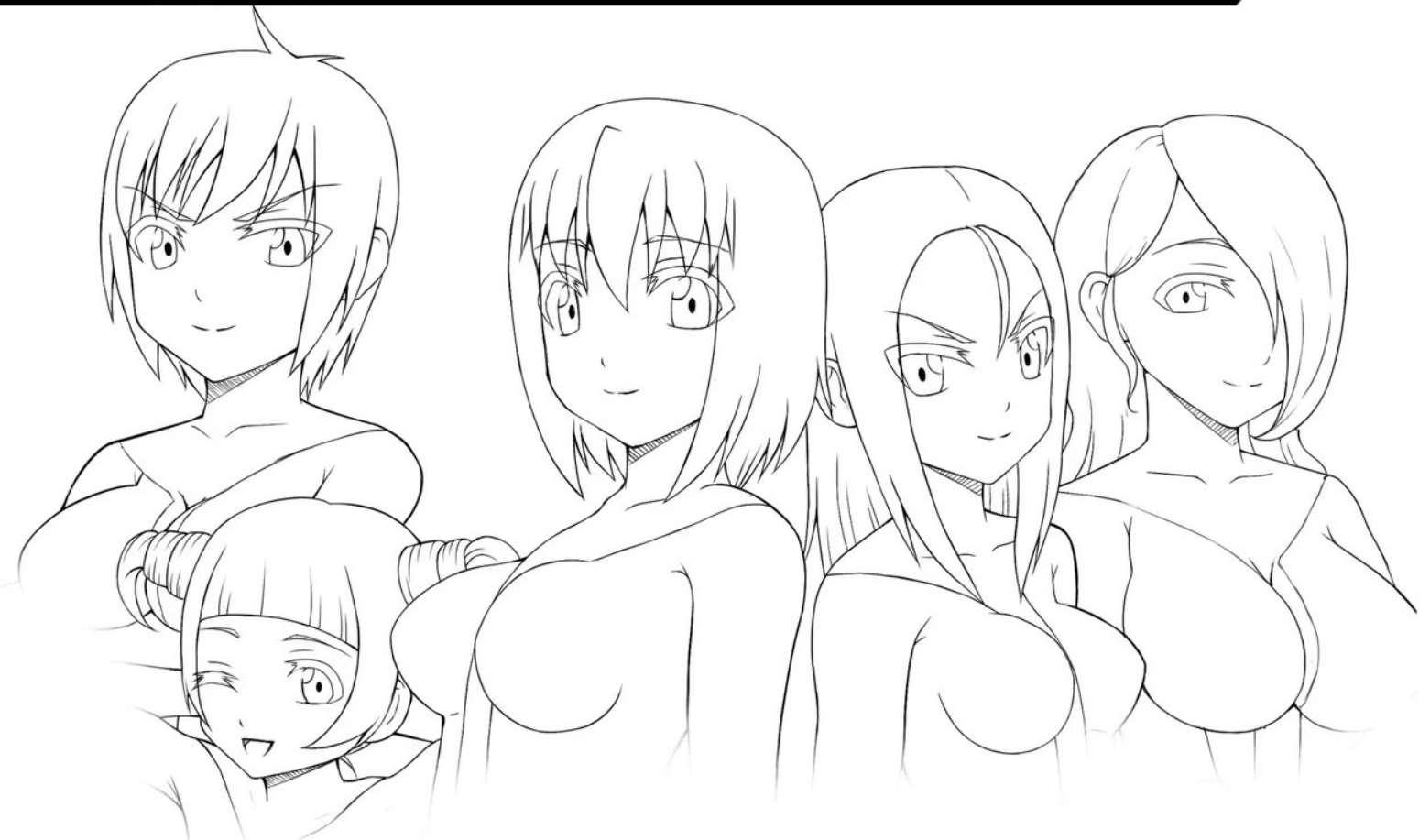
アカネとハルカはヴァジナ隊員時代、恋愛関係にあった。しかしアカネが男性研究員(アカリの父親)に恋をしまい関係は終わりを向かえる。

その後もヴァジナレッドとヴァジナブルーとしてふたりは戦い続けるがクロエとの決戦でハルカは犠牲となってしまう……

しかし数年後、ハルカはクロエと一身となり蘇ることに……

このあたりの話はあまりエロシーンもなく話もどんどん複雑になってしまったので一旦ここで最終話とさせていただきました。また何かの機会で描ければと思います。

最後に



「貞操戦隊ヴァジナカラース」を読んでもいただきありがとうございました！